

東日本大震災みやぎこども育英募金への寄附の贈呈式 が行われました。

(担当課：総務課)

松島海岸中央商店会様及び松島旅館組合様から、東日本大震災により親を亡くされた子どもたち等への支援として御寄附をいただき、その目録の贈呈式が行われました。

【概要】

- 日時 令和5年9月5日(火)
午後3時45分から午後4時まで
- 場所 宮城県行政庁舎4階 特別会議室
- 来庁者 松島海岸中央商店会
会長 佐々木 繁 様
事務局 大宮司 保子 様
松島旅館組合
組合長 西條 博也 様
社会福祉法人松島町社会福祉協議会
会長 遠山 勝雄 様
常務理事 安部 新也 様
事務局長 安住 敦子 様
参事 相澤 雅之 様



東日本大震災みやぎこども育英募金への寄附の贈呈式 が行われました。

(担当課：総務課)

株式会社日本能率協会マネジメントセンター様から、東日本大震災により親を亡くされた子どもたち等への支援として御寄附をいただき、その目録の贈呈式が行われました。

【概要】

- 日時 令和5年9月8日(金)
午前11時から午前11時15分まで
- 場所 宮城県行政庁舎16階 教育委員室
- 来庁者 株式会社日本能率協会マネジメントセンター
取締役 橋村 明彦 様
随 行 小金 奈美 様



「算数チャレンジ（算チャレ）2023」（本選）を開催。 （担当課：義務教育課）

今年で9回目となる「算数チャレンジ大会」の本選出場を果たした33チーム(1チーム3人)が、協働して算数の難問に挑戦しました。本大会は、県内の児童が、算数の様々な問題に挑戦することを通して、算数を学ぶことの楽しさや有用感を感じたり、算数に対する興味や関心等を高めたりしながら、数学的な思考力や表現力を高めることを目的に開催しています。

【概要】

- 日 時 令和5年9月16日（土）
午前9時15分から午後0時30分まで
- 場 所 宮城県総合教育センター 第1・2研修室
- 予選参加者 511チーム・1,533名
本選第1位チーム
学 校 名：白石市立白石第二小学校
チ ーム名：白二小YNY
得 点：100点満点中100点



特別国民体育大会宮城県選手団結団式を実施。

（担当課：保健体育安全課）

令和5年10月7日から、鹿児島県で開催される特別国民体育大会に向けて、宮城県選手団の士気の高揚を図る目的で結団式が行われました。

【概要】

- 日 時 令和5年9月22日（金）
午後3時30分から午後4時15分まで
- 場 所 宮城県庁1階 ロビー
- 大会概要 主会期：令和5年10月7日（土）～17日（火）
正式競技数：37種目



令和6年度宮城県公立学校教員採用候補者選考の実施概要

1 実施概況

- 第1次選考で基礎的な能力実証を行ったうえで、第2次選考において、宮城県が求める教師像に基づき、人物重視の選考を行った。
- 変更点としては、加点措置の拡大、実技試験の一部見直しを行った。

(1) 第1次選考

- 実施日 令和5年7月22日（土）
- 会場 高校3校、東京大学駒場Iキャンパス

(2) 第2次選考

- 実施日 令和5年9月 5日（火）～ 7日（木）、
11日（月）～13日（水）
9月 8日（金） 実技試験
- 会場 宮城県総合教育センター

(3) 実施結果

(人)

	出願者数	1次 免除者数	1次受験者数 (受験率)	1次 合格者数	2次受験者数 (受験率)	名簿登載者数
R6年度	1,511	123	1,283 (92.4%)	849	937 (96.4%)	550
R5年度	1,648	174	1,337 (90.7%)	839	957 (94.5%)	574
対前年比	-137	-51	-54 (+1.7pt)	+10	-20 (+1.9pt)	-24

2 今年度選考試験の特徴（令和6年度選考出願者）

- 1次、2次選考ともに受験者数は減少したが、受験率は上昇した。
- 名簿登載者数 550 人のうち、新卒者数は 277 人で昨年度の 262 人より 15 人増加した。全体に占める割合は 50.4%（昨年度 45.6%）となった。
特に小学校では、名簿登載者の全体に占める割合が 61.6%（昨年度 53.7%）と大幅に増加した。
- 名簿登載者の男女比は男 49.8%（274 人）、女 50.2%（276 人）となり、昨年度と同じ比率だった。
- 名簿登載者数に占める各特別選考の割合は、教職経験者特別選考が 16.4%（昨年度 14.6%）、他県現職者等特別選考が 6.0%（昨年度 8.0%）、宮城県元職者特別選考が 0.5%（昨年度 0.5%）、前年度総合ランク「C」の受験者が 6.9%（昨年度 12.2%）、障害者特別選考が 0.4%（昨年度 0.2%）であった。

3 今後について

- 令和7年度宮城県公立学校の教員採用選考について
 - ・ 令和7年度(令和6年度実施)宮城県公立学校教員採用候補者選考第1次選考の試験日を、これまで実施していた7月下旬から1週間早め、令和6年7月13日(土)に実施し、最終合格発表時期を9月下旬に前倒しする。
 - ・ 新たな取組として、県内大学の推薦による大学3年生を対象とした特別選考を令和5年12月17日(日)に実施する。
- 宮城県の教員を目指す方の一助となる情報をホームページで発信
教員採用に関する動画等を記載したサイトを作成しHPより定期的に配信。詳細は教職員課ホームページより。

令和6年度宮城県公立学校教員採用候補者選考 第2次選考結果

校種・職種	教科等	令和6年度			令和5年度		
		1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	名簿登載者	1次受験者及び 1次免除者	2次受験者	名簿登載者
小学校	地域枠（気仙沼）	8	8	4	12	12	4
	地域枠（東部）	9	8	5	9	9	5
	地域枠（北部）	8	7	5	19	18	5
	特別支援学校枠	45	42	11	53	51	11
	英語枠	10	10	9	15	14	10
	一般枠	258	251	216	280	267	237
	小計	338	326	250	388	371	272
中学校	国語	28	26	16	26	23	20
	社会	102	57	24	125	35	23
	数学	40	29	15	46	39	28
	理科	29	27	24	30	26	20
	技術	3	3	2	2	2	1
	英語	51	36	12	59	44	18
	小計	253	178	93	288	169	110
中・高	保体	245	90	49	238	72	42
	音楽	27	25	13	27	25	17
	美術	32	31	15	27	20	9
	家庭	14	13	8	11	9	7
	小計	318	159	85	303	126	75
高校	国語	34	24	12	45	27	11
	公民	25	11	6	29	15	9
	地歴	62	40	15	54	29	7
	数学	68	32	20	69	18	8
	理科	65	48	18	65	53	20
	農業	9	8	3	10	9	6
	水産	募集せず			4	4	1
	工業	14	13	9	26	24	14
	商業	11	10	5	21	20	7
	情報	8	8	5	16	14	6
	英語	47	22	10	40	33	15
	看護	募集せず			2	2	2
	理療	3	2	1	0		
	福祉	7	7	1	募集せず		
小計	353	225	105	381	248	106	
養護教諭		125	39	16	129	32	9
栄養教諭	栄養教諭A	0	0	0	1	1	1
	栄養教諭B	19	10	1	21	10	1
	小計	19	10	1	22	11	2
合計		1,406	937	550	1,511	957	574

令和6年3月高等学校卒業予定者就職内定状況（9月末現在）

	R5.3月末	R5.7月末	R5.8月末	R5.9月末	前年同月	増減 (当月－前年同月)
内 定 率	98.8%	—	—	52.7%	51.0%	1.7
男 子	99.1%	—	—	55.0%	54.2%	0.8
女 子	98.3%	—	—	49.4%	46.4%	3.0
全 国 平 均	98.0%	—	—	—	—	

【内訳】

卒 業 者	17,857	17,142	17,125	17,109	17,971	-862	
進 学 希 望 者	14,269	13,659	13,640	13,692	14,306	-614	
臨時的仕事希望者	215	40	54	66	85	-19	
進 路 未 定 者	45	200	185	103	85	18	
就 職 希 望 者	3,328	3,243	3,246	3,248	3,495	-247	
内 訳	県 内	2,676	2,870	2,777	2,684	2,938	-254
	県 外	652	373	469	564	557	7
	職安・学校紹介	2,816	2,748	2,716	2,702	2,856	-154
	縁 故 ・ 自 営	186	76	96	112	109	3
	公 務 員	326	419	434	434	530	-96
就 職 内 定 者	3,287	—	—	1,711	1,782	-71	
内 訳	県 内	2,635	—	—	1,335	1,420	-85
	県 外	652	—	—	376	362	14
	職安・学校紹介	2,791	—	—	1,682	1,752	-70
	縁 故 ・ 自 営	172	—	—	27	29	-2
	公 務 員	324	—	—	2	1	1
就 職 未 内 定 者	41	—	—	1,537	1,713	-176	
月 間 受 験 者 数	36	—	—	2,634	2,891	-257	

【概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率 : 52.7% (51.0%)
- ② 進路希望の割合状況 : 進学 80.0% (79.6%) 就職 19.0% (19.4%)
 臨時的仕事 0.4% (0.5%) 未定 0.6% (0.5%)
- ③ 就職希望者の割合 : 県内 82.6% (84.1%) 県外 17.4% (15.9%)
- ④ 県内外の内定率 : 県内 49.7% (48.3%) 県外 66.7% (65.0%)
- ⑤ 内定者の割合 : 県内 78.0% (79.7%) 県外 22.0% (20.3%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	福祉科	その他	総合学科
令和5年度	39.3%	56.8%	74.8%	54.9%	44.2%	58.6%	69.2%	23.7%	53.1%
令和4年度	38.5%	57.7%	73.1%	49.1%	38.9%	46.6%	60.0%	17.5%	50.3%

⑦地域別内定状況

地域別内定率	仙台	大和	石巻	塩釜	古川	大河原	白石	築館	迫	気仙沼
令和5年度	50.6%	57.3%	44.3%	36.0%	62.0%	55.2%	77.5%	51.3%	56.4%	47.7%
令和4年度	45.3%	61.8%	51.0%	36.9%	61.5%	52.5%	71.2%	41.9%	54.3%	47.4%

⑧宮城労働局発表 県内求人倍率(8月末現在)(職安学校紹介のみ、ただし特別支援学校・通信制含む)

	30年3月卒	31年3月卒	2年3月卒	3年3月卒	4年3月卒	5年3月卒	6年3月卒
県内求人数	9,944	10,624	10,803	8,802	8,891	9,386	10,324
県内求職者数	3,312	3,287	3,230	3,060	2,827	2,496	2,318
求人倍率	3.00	3.23	3.34	2.88	3.15	3.76	4.45

令和６年度

宮城県立高等学校入学者選抜方針 仙台市立高等学校入学者選抜方針 石巻市立高等学校入学者選抜方針 宮城県公立高等学校入学者選抜要項

出願書類

出願希望調査までの流れ

入試のフロー図

地区処理委員会

各種様式一覧

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

県立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）

東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会

仙台市教育委員会

石巻市教育委員会

入 学 者 選 抜 事 務 日 程

事 項	参 照 ペ ー ジ	期 日	報 告 者 又 は 送 付 者	経 由 (宛 先)	最 終 報 告 先 又 は 送 付 先	備 考	
募 集 定 員	4	5月19日(金)				県教委、関係市教委	
入学者選抜一覧公表(実施方法等)		5月19日(金)				県教委、関係市教委	
願 書 等 用 紙 配 布		10月上旬	県 教 育 長		教育事務所長等		
出願希望調査	集 計 表 の 提 出	6	1月10日(水)から 1月12日(金) 午後3時まで	中 学 校 長	仙台市立中学校に あつては仙台市教 育委員会教育長	県 教 育 庁 高 校 教 育 課 長	電 子 メ ー ル
	結 果 の 通 知 ・ 公 表	6	1月17日(水)	県 教 育 長			
第 一 次 募 集 選 抜 全 国 募 集 選 抜 (上 段) 社 会 人 特 別 選 抜 (下 段)	出 願 受 付	9,19,30 22	2月13日(火)から 2月16日(金) 午前11時まで	中 学 校 長 又 は 所 属 長 等		高 等 学 校 長	
	出 願 書 類 受 領 書 ※ 社 会 人 特 別 選 抜 の み	22	2月13日(火)から 2月16日(金)	高 等 学 校 長		所 属 長 等	郵 送 で 受 領 し た 場 合 は、 後 日 郵 送
	出 願 者 数 等 報 告	9,19,31 22	2月16日(金) 出願締切後直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	特 例 措 置 に よ る 出 願 受 付 等	13	2月19日(月)から 2月29日(木) 申請受付：午前11時まで 出願受付：正午まで			高 等 学 校 長	
	学 力 検 査 及 び 面 接 等	9,10,19,31 23	3月5日(火) 3月6日(水)				高 等 学 校
	追 試 験	10	3月8日(金)				高 等 学 校
	結 果 通 知	12,20,32 23	3月14日(木) 午後3時頃	高 等 学 校 長		中 学 校 長 又 は 所 属 長 等	郵 送
	合 格 者 の 発 表	12,20,31 23	3月14日(木) 午後3時				高 等 学 校
	合 格 者 数 等 報 告	12,20,32 23	3月14日(木) 正午まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	出 願 者 数 及 び 合 格 者 数 学 力 検 査 成 績 等 の 報 告	13,20,32 23	3月22日(金)まで	高 等 学 校 長		県 教 育 長 〇	(親 展 文 書)
県 外 か ら の 出 願 承 認 申 請 受 付 (全 国 募 集 選 抜 を 含 む)	24,29	12月12日(火)から 2月15日(木) 午前11時まで			高 等 学 校 長	特 例 措 置 に よ る 出 願 承 認 は 2 月 29 日 (木) ま で	
県 外 か ら の 公 立 高 等 学 校 出 願 承 認 報 告	25,27,29	3月4日(月)まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル	
第 二 次 募 集	実 施 予 定 の 報 告 (第 一 次 募 集 出 願 締 切 後)	14	2月16日(金)午前11時	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル ※ 3 月 14 日 (木) に 再 度 報 告
	実 施 予 定 の 報 告 (第 一 次 募 集 合 格 発 表 日)	14	3月14日(木) 正午まで	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	出 願 受 付	16,17	3月15日(金)から 3月19日(火) 午後3時まで	中 学 校 長		高 等 学 校 長	
	出 願 者 数 等 報 告	17	3月19日(火) 出願締切後直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
	学 力 検 査 等	17	3月21日(木)				高 等 学 校
	合 格 者 の 発 表	17	3月21日(木)又は 3月22日(金)				高 等 学 校
	結 果 の 報 告	17	合格者の発表後 直ちに	高 等 学 校 長	市立高等学校に あつては所属教 育委員会教育長	県 教 育 長	電 子 メ ー ル
通 信 制 課 程 一 期 入 学 者 選 抜 出 願 受 付	34	3月11日(月)から 3月18日(月) 午前11時まで			高 等 学 校 長		
通 信 制 課 程 一 期 入 学 者 選 抜 結 果 通 知 送 付	34	3月25日(月)	高 等 学 校 長		受 験 生 本 人	郵 送	
通 信 制 課 程 二 期 入 学 者 選 抜 出 願 受 付	36	令和6年 9月2日(月)から 9月6日(金) 午前11時まで			高 等 学 校 長		
通 信 制 課 程 二 期 入 学 者 選 抜 結 果 通 知 送 付	36	9月13日(金)	高 等 学 校 長		受 験 生 本 人	郵 送	

(備考) 市立高等学校にあつては、〇は所属教育委員会教育長にも報告する。

上記のうち宮城県教育委員会教育長、仙台市教育委員会教育長、石巻市教育委員会教育長宛てに提出又は報告を要する文書は、それぞれ以下において受け付ける。

宮城県教育庁高校教育課
(電話) (022) 211-3649・3624 (教育指導第二班)

〒980-8423 仙台市青葉区本町三丁目8-1
(FAX) (022) 211-3696

仙台市教育局学校教育課
(電話) (022) 214-8422

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎
(FAX) (022) 264-4437

石巻市教育委員会学校教育課
(電話) (0225) 95-1111 (代表)

〒986-8501 石巻市穀町14-1
(FAX) (0225) 22-5160

目 次

ページ

◆ 令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針	1
◆ 令和6年度仙台市立高等学校入学者選抜方針	2
◆ 令和6年度石巻市立高等学校入学者選抜方針	3
◆ 令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項	4
I 募集及び出願	
1 募集定員	4
2 出願資格	
3 出願制限	
II 出願希望調査	
1 手続	6
2 結果の通知・公表	
III 第一次募集（全日制・定時制課程）	
1 第一次募集の実施	7
2 出願資格	
3 出願制限	
4 出願手続	8
5 県外からの出願	9
6 出願期間	
7 出願者数等の報告	
8 学力検査	
9 面接、実技、作文	10
10 追試験	
11 選抜	11
12 合格者の発表	12
13 合格者数等の報告	
14 第一次募集出願の特例措置	13
15 合格者の取扱い	
IV 第二次募集（全日制・定時制課程）	
1 第二次募集の実施	14
2 実施予定の報告	
3 出願資格	
4 出願制限	15
5 出願手続	
6 県外からの出願	17
7 出願期間	
8 出願者数等の報告	
9 学力検査等	
10 選抜	
11 合格者の発表	
12 合格者数等の報告	
V 連携型選抜	
1 連携型選抜の実施	18
2 出願資格	

3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	19
6	出願者数等の報告	
7	検査内容	
8	選抜	
9	合格者の発表	20
10	合格者数等の報告	
11	合格者の取扱い	
VI	社会人特別選抜（定時制課程）	
1	社会人特別選抜の実施	21
2	出願資格	
3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	22
6	出願者数等の報告	
7	受験票等の送付	23
8	学力検査及び面接等	
9	選抜	
10	合格者の発表	
11	合格者数等の報告	
12	合格者の取扱い	
VII	県外からの出願（全日制・定時制課程）	
1	出願承認の申請	24
2	出願承認の申請手続	
3	出願手続	25
4	県外からの出願の特例措置	26
VIII	全国募集選抜	
1	全国募集選抜の実施	28
2	出願資格	
3	出願制限	
4	出願承認の申請	
5	出願承認の申請手続	
6	出願手続	29
7	出願期間	30
8	出願数等の報告	31
9	学力検査及び面接	
10	選抜	
11	合格者の発表	
12	合格者数等の報告	32
IX	通信制課程	
第1	通信制課程の入学選抜の実施	33
第2	一期入学選抜（令和6年春募集）	
1	募集人数	

2	出願資格	
3	出願制限	
4	出願手続	
5	出願期間	34
6	面接	
7	選抜	
8	結果の通知	
9	その他	
第3	二期入学者選抜（令和6年秋募集）	35
1	募集人数	
2	出願資格	
3	出願手続	
4	出願期間	36
5	面接	
6	選抜	
7	結果の通知	
8	その他	

X その他

1	学力検査及び面接等の実施上、配慮を要する者の取扱い	37
2	進路指導と助言	
3	特別な事情を有する生徒の副申書に関する取扱い	
4	不正行為の扱い	
5	合格した生徒の生徒指導要録抄本等の送付	
6	入学者選抜に係る検査の得点の開示	38
7	海外帰国者等の取扱いに関する留意事項	
◆	出願書類	39
◆	入学者選抜事務説明会、出願希望調査の流れ	40
◆	第一次募集の流れ	41
◆	連携型選抜の流れ	42
◆	県外からの出願の流れ	43
◆	特例措置の流れ（第一次募集）	
◆	全国募集選抜の出願の流れ	44
◆	第二次募集の流れ	45
◆	地区処理委員会	46
◆	各種様式一覧	47
◆	県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて	72
◆	県立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	74
◆	仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	
◆	石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（抄）	75
◆	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置	76
◆	宮城県公立高等学校出願書類送付先一覧	79

令和6年度宮城県立高等学校入学者選抜方針

宮城県立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各宮城県立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあっては調査書等作成のための委員会を、宮城県立高等学校（以下「高等学校」という。）にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - イ 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - ロ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 連携型中高一貫教育に関する選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校は、連携型中高一貫教育を実施する中学校の卒業生を対象とした選抜を実施する。選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、その他必要な書類、学力検査（第一次募集に準ずる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

6 社会人特別選抜

定時制課程の学科を有する高等学校においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

7 通信制課程に関する選抜

当該高等学校長は上記によらず、選抜を行うことができるものとする。

8 全国募集選抜

全国募集を行うモデル校として指定された高等学校は、該当する市町村と生徒受け入れに関して連携して、全国募集選抜への出願者を対象とした選抜を実施する。

この場合、募集人数は、募集定員の外数とし、選抜に当たって、当該高等学校長は、原則として、調査書、学力検査（第一次募集に準ずる。）及び面接等の結果に基づいて総合的に審査するものとする。

令和6年度仙台市立高等学校入学者選抜方針

仙台市立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 各仙台市立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、仙台市立高等学校（以下「高等学校」という。）にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) すべての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - ア 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - イ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

すべての高等学校は、第一次募集検査日当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

5 社会人特別選抜

定時制課程の学科を有する高等学校においては、第一次募集において社会人を対象とした選抜を行うことができる。当該高等学校長は、学力検査について、弾力的に対応することができるものとする。

令和6年度石巻市立高等学校入学者選抜方針

石巻市立高等学校における入学者選抜は、高等学校及び中学校における教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

1 基本原則

- (1) 石巻市立高等学校長（以下「高等学校長」という。）は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を積極的に評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、中学校にあつては調査書等作成のための委員会を、石巻市立高等学校（以下「高等学校」という。）にあつては選抜のための委員会を設置するものとする。

2 第一次募集

- (1) 高等学校は、学校・学科の特色に応じて、第一次募集を実施する。選抜に当たって、高等学校長は、原則として、調査書、学力検査の結果及び必要に応じて実施する面接、作文の検査結果に基づいて共通選抜と特色選抜の2通りの方法により選抜するものとする。
- (2) 学力検査
 - ア 学力検査の実施教科は、国語、社会、数学、理科及び英語とする。
 - イ 学力検査の内容は、中学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的なものを重視するとともに、生徒の多様な能力・適性等が評価できる適切な質と分量の問題になるよう配慮するものとする。

3 追試験

高等学校は、第一次募集検査当日に、やむを得ない事由により受験できなかった者を対象に、追試験を実施する。

この場合、学力検査、面接及び作文並びに選抜方法等については、第一次募集に準ずる。

4 第二次募集

合格者数が、募集定員に満たない場合においては、第二次募集を行うものとする。選抜に当たって、高等学校長は、調査書のみの審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接及び作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた審査を行うことができる。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項

この要項では、全日制課程及び定時制課程における第一次募集及び第二次募集並びに連携型中高一貫教育を実施する高等学校における連携型中高一貫教育に関する選抜（以下「連携型選抜」という。）、全国募集選抜、定時制課程における社会人特別選抜及び通信制課程における選抜について定める。

なお、東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置については、別に定め（76頁参照）、その他、留意事項は、必要に応じて別に定める。

I 募集及び出願

1 募集定員

- (1) 県立高等学校の募集定員は、県教育委員会が別に公示する。
- (2) 市立高等学校の募集定員は、当該高等学校を設置する市の教育委員会が別に公示する。

2 出願資格

県内の公立高等学校の入学者選抜に出願できる者は、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者で、原則として出願時点で高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。また、併設型中高一貫教育を実施する中学校（以下「併設型中学校」という。）から併設型中高一貫教育を実施する当該高等学校（以下「当該併設型高等学校」という。）への入学予定者及び中等教育学校の前期課程から後期課程への進級予定者を除く。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業又は令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了又は令和6年3月修了見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則第95条の規定により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

なお、中学校、これに準ずる学校、義務教育学校及び中等教育学校の前期課程を、以下「中学校」という。

3 出願制限

- (1) 県内の公立高等学校の入学者選抜において出願できる高等学校は、県立高等学校の通学区域に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第17号。以下「県通学区域規則」という。）、仙台市立高等学校の通学区域に関する規則（平成12年仙台市教育委員会規則第4号。以下「仙台市通学区域規則」という。）及び石巻市立高等学校の通学区域に関する規則（平成17年石巻市

教育委員会規則第15号。以下「石巻市通学区域規則」という。)に定める区域内の高等学校に限る。ただし、県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定(以下「県境隣接協定」という。)に定める区域内に居住する者は、その定めによる。

- (2) 全国募集選抜において出願できる高等学校は、宮城県中新田高等学校及び宮城県南三陸高等学校に限る。出願できる者は別に定める出願資格を満たす者とする。
- (3) 出願できる課程及び学科・コース・部は、一つに限る。

イ 農業、工業、商業又は水産に関する学科等においては、類似学科の一括募集を実施することができるものとし、この場合には、一括された二つ以上の学科を一つの学科として扱う。

一括募集を実施する高等学校にあつては、その旨を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。

ロ 次の多部制をとる高等学校においては、それぞれ次表のように取扱う。

高等学校	取 扱 い
貞山高等学校	昼間部、夜間部をそれぞれ一つの学科として扱う。
東松島高等学校	昼間部(午前部)、昼間部(午後部)、夜間部をそれぞれ一つの学科として扱う。以下、昼間部(午前部)、昼間部(午後部)、夜間部はそれぞれ「Ⅰ部」、「Ⅱ部」、「Ⅲ部」という。
田尻さくら高等学校	午前部、午後夕間部をそれぞれ一つの学科として扱う。以下、午前部、午後夕間部はそれぞれ「Ⅰ部」、「Ⅱ部」という。
仙台大志高等学校	Ⅰ部(午前午後)、Ⅱ部(午後夜間)をそれぞれ一つの学科として扱う。

Ⅱ 出願希望調査

中学校の校長（以下「中学校長」という。）は、県内公立高等学校への入学を志願する在籍生徒及び過年度卒業生について、志願する高等学校ごとに第1希望生徒数を調査し報告する。

1 手続

- (1) 中学校長は、**出願希望調査集計表（様式A）**を作成し、県教育庁高校教育課長（仙台市立中学校にあっては仙台市教育委員会教育長）に電子メールで報告する。
- (2) 志願できる高等学校は、一人1校とし、課程及び学科・コースについては一つに限る。

2 結果の通知・公表

県教育長は、出願希望調査結果を公立高等学校長、中学校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長等に通知するとともに、公立高等学校ごとの志願者数等を公表する。

	出願希望調査
提出書類	様式A
提出の期間	1月10日（水）から 1月12日（金）午後3時まで
結果の通知・公表	1月17日（水）

Ⅲ 第一次募集（全日制・定時制課程）

1 第一次募集の実施

- (1) 全ての高等学校は、学校・学科の特色に応じて、学科・コースの募集単位（以下「募集単位」という。）ごとに、求める生徒像、選抜方法（共通選抜、特色選抜の選抜順序及び募集割合等）を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (2) 共通選抜の募集割合は、募集定員の50%～90%とする。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程においては10%～90%の範囲内で設定する。
- (3) 特色選抜の募集割合は、募集定員の10%～50%とする。ただし、体育及び美術に関する学科並びに定時制課程においては10%～90%の範囲内で設定する。
- (4) 募集割合の設定は、5%区切りとする。
- (5) 併設型中高一貫教育を実施する仙台二華高等学校及び古川黎明高等学校における共通選抜、特色選抜の募集割合は、併設中学校からの入学予定者を除いた人数に対して設定する。
- (6) 各高等学校の募集単位ごとの求める生徒像、選抜方法（共通選抜、特色選抜の選抜順序及び募集割合等）については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

第一次募集に出願できる者は、「Ⅰ 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、県外の国公立高等学校に合格した者は出願することができない。

3 出願制限

- (1) 出願できる高等学校、課程、学科及びコースは、一つに限る。
- (2) 複数の学科・コースを併置する高等学校にあっては、当該校の他の学科・コースを第2志望とすることができる。
各高等学校の第2志望とすることを認める学科・コースについては、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例（昭和39年条例第16号。以下「県立学校条例」という。）で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、**収入証紙に消印、割印しないこと。**

市立高等学校志願者にあつては、仙台市学校条例（昭和39年仙台市条例第15号。以下「仙台市条例」という。）又は石巻市立学校の授業料等徴収条例（平成20年石巻市条例第38号。以下「石巻市条例」という。）で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては**納入通知書兼領収書**を、石巻市立高等学校志願者にあつては**納入通知書兼領収証書**を、願書裏面に貼付すること。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

④ 受験票等送付用封筒 1枚

角形2号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1枚

角形2号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、**第一次募集結果通知書（様式G）**及び**合格通知書（様式H）**の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

第一次募集志願者は、上記(1)の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出されたものに②～⑤を加えて高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「第一次募集願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑤の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

- イ 出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。
- ロ 県外からの出願については、宮城県公立高等学校出願承認書(様式L)の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

(4) 受験票の受領

出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

(5) 県境隣接

中学校長は、県境隣接協定による志願者について、その住所を同協定の定めるところに基づいて確認し、適正を期す。

5 県外からの出願

県外からの出願については、「Ⅶ 県外からの出願」(24頁)による。

6 出願期間

出願受付期間は、2月13日(火)から2月16日(金)までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月16日(金)午前11時までに必着のこと。)

7 出願者数等の報告

高等学校長は、2月16日(金)午前11時の出願締切後直ちに、第一次募集出願者数等(募集単位別)を県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

8 学力検査

- (1) 学力検査は、3月5日(火)に各高等学校において実施する。
- (2) 学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。
- (3) 学力検査の日程は、次の表のとおりとする。

時 間 月 日	時 間										
	8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
3月5日(火)	受付確認 諸注意	[1] 国 語		[2] 数 学		[3] 社 会	昼 食 休 憩	[4] 英 語		[5] 理 科	

- (4) 学力検査を受ける際、分度器（分度器機能付きの定規を含む。）の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類（スマートフォン・スマートウォッチ等を含む。）の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。指示に従わない場合は不正行為とみなす。
- (5) やむを得ない理由により学力検査及び面接等を分校において実施する高等学校にあっては、その旨を**11月10日（金）**までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に申請し、承認を受ける。

9 面接、実技、作文

- (1) 全ての高等学校は、募集単位ごとに、それぞれの特色に応じて、面接、実技（体育及び美術に関する学科の場合）、作文（以下、「面接等」という。）を実施することができる。
- (2) 面接等は**3月5日（火）の学力検査終了後**又はその翌日の**3月6日（水）**に各高等学校において実施する。
- (3) 面接等の実施日、実施時間等については各学校で定め、受験票交付時に当該高等学校長から中学校長を通じて、受験者に通知する。
- (4) 面接等を実施する高等学校は、問題作成委員会を設置し、組織的、計画的に問題作成及び点検を行うこと。また、出題の形式、内容、配点及び実施時間等について、適切なものとなるよう考慮すること。
- (5) 面接は、複数の担当者で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

10 追試験

(1) 追試験の実施

第一次募集検査日当日に学力検査又は面接等をやむを得ない事由により受験できなかった者に対する受験機会の確保のために、追試験を実施する。

(2) 対象者

イ 追試験は、第一次募集検査日当日に学力検査、面接等を欠席した者で、次のいずれかに該当する者を対象として実施する。

(イ) インフルエンザ等の感染症等の罹患者及びその症状のある者

(ロ) その他やむを得ない事由のある者

ロ 学力検査と面接等を別日程で実施する高等学校において、いずれかの日程を欠席した場合には、欠席した日に実施された学力検査や面接等についてのみ追試験を実施する。

ハ 学力検査を1科目でも受験した場合には、学力検査の追試験を認めない。

(3) 実施日

イ 学力検査は、**3月8日（金）**に実施する。

ロ 面接等は、**3月8日（金）**又は**3月11日（月）**に実施する。

(4) 実施方法

- イ 追試験における学力検査及び面接等は、第一次募集に準じて実施する。
- ロ 追試験においては、学力検査と面接等を同一日に実施することも可能とする。
- ハ 面接等の実施日、実施時間等は、当該高等学校長から中学校を通じて、受験生に通知する。

(5) 実施会場

受験生が出願した高等学校において実施する。

(6) 実施上の手続き

- イ やむを得ない事由により第一次募集の学力検査及び面接等を受験できなくなった受験生は、在籍する中学校長へ速やかに電話等で申し出る。
- ロ 当該中学校長は、追試験の必要があると認めた場合には、**第一次募集検査日の午後4時まで**に、出願先高等学校長へ電話等で連絡する。
- ハ 当該中学校長は、**3月7日（木）午後3時まで**に、**追試験申請書（様式T-1）**に証明書類等を添付し、出願先高等学校長へ持参又は郵送する。
- ニ 申請書及び証明書類等（以下「申請書類」という。）を受理した高等学校長は、申請書類を審査の上、追試験の承認の可否を判断し、その事由がやむを得ないものと認めた場合は、速やかに当該中学校長宛てに**追試験受験許可証（様式T-2）**を持参又は郵送する。
- ホ 追試験受験を認められた受験生は追試験当日、受験票及び**追試験受験許可証の写し**を受付で提示し、受験する。
- ヘ 追試験に係る書類の送付については、事態の緊急性に鑑み、まずFAX等で送付し、その後、速やかに持参又は郵送することとする。

11 選抜

- (1) 選抜は、調査書、学力検査の結果に基づいて選抜する共通選抜と、調査書、学力検査の結果及び面接等の結果に基づいて選抜する特色選抜の2つの選抜方法により行う。
- (2) 共通選抜と特色選抜の選抜の順序・方法等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」による。
- (3) 共通選抜
 - イ 調査書点は、調査書の「1 各教科の学習の記録」の音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科の評定値を2倍にして、国語、数学、社会、英語及び理科の評定値と合計して算出する。
 - ロ 学力検査点は、国語、数学、社会、英語及び理科の学力検査の得点の合計点とする。
 - ハ 高等学校長は、調査書点と学力検査点の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。このとき、あらかじめ届け出た調査書点と学力検査点の比重に基づき、その両方の満点により近い者を上位とし、上位の者から審査し、共通選抜の募集人数分を選抜する。ただし、体育及び美術に関する学科にあっては、実技の評価を選抜資料に加えて選抜することができる。

なお、相関図での調査書点と学力検査点の比重は、各高等学校が募集単位ごとに次の割合の中から定める。

比 重	調査書重視		同等	学力検査重視	
調査書：学力検査	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

(4) 特色選抜

イ 調査書点は、調査書の「1 各教科の学習の記録」の各教科・各学年の評定を、各高等学校が募集単位ごとに、教科ごと、学年ごとに定めた倍率を用いて算出する。

倍率は、国語、数学、社会、英語及び理科については0.25、0.5、0.75、1.0、1.25、1.5、1.75、2.0から、音楽、美術、保健体育及び技術・家庭については0.5、1.0、1.5、2.0、2.5、3.0、3.5、4.0から定める。ただし、不登校生徒を積極的に受け入れるために、この倍率未満に設定することができる。

ロ 学力検査点は、国語、数学、社会、英語及び理科の学力検査の得点を、各高等学校が募集単位ごとに、教科ごとに定めた倍率を用いて算出した得点の合計点とする。

倍率は、0.25、0.5、0.75、1.0、1.25、1.5、1.75、2.0から定める。

ハ 高等学校長は、調査書点、学力検査点、各高等学校が募集単位ごとに実施した面接等の得点を合計し、その合計点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

なお、特色選抜の審査対象者は、合計点上位の者から、各高等学校が募集単位ごとに定めた範囲内の者とする。

範囲は、募集人数の120%から200%のうち、5%区切りで設定する。

また、調査書の「1 各教科の学習の記録」以外の記載事項については、これを選抜資料として十分活用するよう特に配慮することとし、副申書を除くその他の資料を選抜の資料に加える場合は、所属教育委員会教育長と事前に協議する。

(5) 第2志望の受験者の選抜については、原則として募集定員が満たされていない学科・コースにおいて、共通選抜の方法で行うこととする。

(6) 追試験を受験した者の選抜については、第一次募集に含めて行うこととする。

12 合格者の発表

合格者の発表は、**3月14日（木）午後3時**に各高等学校において行う。

高等学校長は、選抜の結果を**第一次募集結果通知書（様式G）**及び**合格通知書（様式H）**により中学校長に通知する。

13 合格者数等の報告

(1) 高等学校長は、合格者決定後、**3月14日（木）正午**までに合格者数等（募集単位別）を県教

育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

- (2) 高等学校長は、**3月22日（金）**までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長にも報告する。

14 第一次募集出願の特例措置

- (1) 第一次募集の出願後、県内における一家転住により、やむを得ず出願先の変更を希望する者については、審査の上、特例として出願先の変更を認めることがある。この場合、次のイ及びロの関係書類を整え、既に出願している高等学校長に申請し、承認を受ける。

なお、書類の提出を郵送により行う場合は、簡易書留とし、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。

イ 宮城県公立高等学校出願承認願（県内の特例措置による出願者用）（様式K-1）

ロ 返信用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

- (2) 上記(1)の申請期間は**2月19日（月）**から**2月29日（木）**までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。）。申請受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**2月29日（木）**は**午前11時**までとする（郵送する場合であっても、**2月29日（木）午前11時**までに必着のこと。）。

- (3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

高等学校長は、**宮城県公立高等学校出願承認願（県内の特例措置による出願者用）（様式K-1）**を受理した場合には、出願審査委員会を設けるなどして、公正かつ適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、**宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）**を交付する。

上記の審査が困難な場合は、高等学校長は、所属教育委員会教育長と協議を行う。

- (4) 特例措置の承認を受けた者は、上記(2)の申請期間内に志願高等学校に出願の手続きを済ませること（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。）。出願受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**2月29日（木）**は**正午**までとする（郵送する場合であっても、**2月29日（木）正午**までに必着のこと。）。

- (5) 高等学校長は、特例措置による**宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）**を交付した者について**3月4日（月）**までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあつては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

15 合格者の取扱い

第一次募集による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

IV 第二次募集（全日制・定時制課程）

1 第二次募集の実施

- (1) 第一次募集の合格発表の時点で募集定員が満たされていない高等学校の課程、学科・コースについては、第二次募集を行う。
- (2) 募集は、課程、学科・コースごとに行う。
- (3) 各高等学校の募集単位ごとの求める生徒像、選抜方法等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。
- (4) 第二次募集を行う高等学校、課程、学科・コース及び募集人数並びに合格者の発表日等については、別に公表する。

2 実施予定の報告

- (1) 第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜の出願者数が募集定員に満たないため第二次募集を実施する予定となった高等学校長は、**2月16日（金）午前11時の第一次募集の出願締切後直ちに、第二次募集予定報告（様式N）**を用いて、県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜の合格者数並びに併設型中学校からの入学予定者数の計が募集定員に満たないため第二次募集を実施する高等学校長（**2月16日（金）**に実施予定を報告した高等学校を含む。）は、第一次募集の合格者決定後、**3月14日（木）正午**までに募集人数を**第二次募集予定報告（様式N）**を用いて、県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (3) 市立高等学校にあっては、(1)及び(2)のそれぞれについて所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

3 出願資格

第二次募集に出願できる者は、「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）に該当する者のうち、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本県の公立高等学校の第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜又は私立高等学校の入学試験を受験し、いずれにも合格していない者

この趣旨は、本県の公私立高等学校を受験して合格していない者に対し、第二次募集を行う高等学校に限り、再度受験の機会を与えることにある。ただし、いずれの高等学校にも合格していない者には、私立高等学校の入学試験に合格し、最終の入学手続をとらない者を含む。

- (2) 本県の公立高等学校の第一次募集（社会人特別選抜を含む。）及び連携型選抜に出願したが、病気や不慮の事故等で受験できなかった者

この趣旨は、本県の公立高等学校の第一次募集に出願したが、病気や不慮の事故等で受験できなかった者に対して、第二次募集を行う高等学校に限り、受験の機会を与えることにある。この場合、私立高等学校に合格している者を含む。

(3) 県外からの一家転住者で、県外の国公立高等学校に合格していない者

この趣旨は、「Ⅶ 県外からの出願」の「4 県外からの出願の特例措置」に定めている申請期間以降に県外から一家転住してきた者に対して、第二次募集を行う高等学校に限り、受験の機会を与えることにある。この場合の資格審査は、志願高等学校長が行う。

(注意) この場合の承認の手続きは、「Ⅶ 県外からの出願」の「4 県外からの出願の特例措置」に準ずる。

(4) 県境隣接地域に住所を有する者で、国公立高等学校のいずれにも合格していない者

この趣旨は、国公立高等学校を受験して合格していない県境隣接地域に住所を有する者に対し、県境隣接協定に基づく高等学校のうち、第二次募集を行う高等学校に限り、再度受験の機会を与えることにある。県境隣接地域に住所を有する者については、本県公立高等学校の第一次募集に出願していなくとも、第二次募集への出願を認める。ただし、いずれの高等学校にも合格していない者には、私立高等学校の入学試験に合格し、最終の入学手続きをとらない者を含む。

(5) 県の内外を問わず、国公立高等学校いずれにも出願又は合格しなかった者

4 出願制限

- (1) 出願できる高等学校は、第二次募集を実施する高等学校の一つに限る。
- (2) 出願できる課程及び学科・コースは、一つに限る。
- (3) 通信制課程との併願はできない。

5 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例又は石巻市条例で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校志願者にあつては納入通知書兼領収証書を、願書裏面に貼付すること。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

中学校長は、出願者が出願資格を有する者であることの証明として、備考欄に「3 出願資格」の(1)～(5)のうち該当する番号を明記すること。

④ 受験票等送付用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1枚

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、第二次募集結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

第二次募集志願者は、上記(1)の①を中学校長へ提出する。中学校長は提出されたものに②～⑤を加えて高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「第二次募集願書在中」と朱書すること。

（注意） 中学校長は、志願者が「3 出願資格」及び「4 出願制限」の定めに該当するかどうかを十分確認の上、出願手続を行うこと。

高等学校長は、出願資格等の審査について厳正を期すこと。

（注意） 上記(1)の①～⑤の出願書類（貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。）は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

イ 出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

ロ 県外からの出願については、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

(4) 出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

6 県外からの出願

県外からの出願については、「Ⅶ 県外からの出願」(24頁)による。

7 出願期間

出願受付期間は、**3月15日(金)**から**3月19日(火)**までとする(ただし、土曜日、日曜日を除く。)

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**3月19日(火)**は**午後3時**までとする(郵送する場合であっても、**3月19日(火)午後3時までに必着**のこと。)

8 出願者数等の報告

第二次募集を実施する予定となった高等学校長は、**3月19日(火)午後3時**の出願締切後直ちに、第二次募集出願者数(募集単位別)を県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

9 学力検査等

(1) 学力検査等の実施

学力検査等を実施する高等学校にあっては、**3月21日(木)**に行う。

(2) 学力検査の実施教科、実施時間等については高等学校ごとに定める。

(3) 面接、実技、作文の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

(4) やむを得ない理由により学力検査等を分校において実施する高等学校にあっては、その旨を**3月12日(火)正午**までに県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に申請し、承認を受ける。

10 選抜

選抜は、調査書のみ審査、あるいは調査書に、第二次募集の学力検査、面接、実技、作文のいずれか一つ又は複数の結果を合わせた総合的な審査により行う。

11 合格者の発表

合格者の発表は、高等学校ごと、**3月21日(木)**又は**3月22日(金)**に行う。高等学校長は、選抜の結果を**第二次募集結果通知書(様式G)**及び**合格通知書(様式H)**により中学校長に通知する。

12 合格者数等の報告

高等学校長は、**合格者の発表後直ちに、第二次募集結果の報告(様式O)**を県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

V 連携型選抜

1 連携型選抜の実施

- (1) 連携型高等学校（宮城県南三陸高等学校）は、連携型中学校（南三陸町立志津川中学校、同歌津中学校）からの志願者を対象とした連携型選抜を実施する。
- (2) 連携型高等学校は、学科ごとに連携型選抜の募集割合及び選抜方法等を県教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (3) 連携型選抜の募集割合等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

連携型選抜に出願できる者は、次の条件を全て満たし、連携型中学校の校長（以下「連携型中学校長」という。）が認めた者とする。

- (1) 令和6年3月に連携型中学校を卒業する見込みの者であること。
- (2) 連携型高等学校、学科を志願する動機や理由が明確で適切であること。
- (3) 連携型高等学校、学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (4) 中学校生活を意欲的に送り、入学後も学校生活を意欲的に送る意志があること。

3 出願制限

出願できる学科は、一つに限る。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 連携型選抜用入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程2,200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

ロ 中学校が用意するもの

② 調査書（様式B）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

③ 出願者一覧表（様式C） 1通

④ 受験票等送付用封筒 1枚

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑤ 結果通知用封筒 1枚

角形2号封筒に、簡易書留通常郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(2) 出願書類の提出方法

連携型選抜志願者は、上記(1)の①を連携型中学校長へ提出し、連携型中学校長は②～⑤を加えて、連携型高等学校の校長（以下「連携型高等学校長」という。）に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「連携型選抜願書在中」と朱書すること。

（注意） 上記(1)の①～⑤の出願書類（貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。）は、連携型高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した連携型高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

(4) 出願者は、連携型中学校長から受験票を受け取る。

5 出願期間

出願受付期間は、2月13日（火）から2月16日（金）までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日（金）は午前11時までとする（郵送する場合であっても、2月16日（金）午前11時までに必着のこと。）。

6 出願者数等の報告

連携型高等学校長は、2月16日（金）午前11時の出願締切後直ちに、連携型選抜出願者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

7 検査内容

検査内容は、第一次募集に準ずる。

8 選抜

- (1) 連携型高等学校は、原則として調査書、学力検査及び面接の結果等に基づいて総合的に審査し、選抜する。

- (2) 連携型高等学校長は、第一次募集の特色選抜による合格者の数があらかじめ定めた第一次募集の特色選抜の募集人数に満たない場合、当該募集人数から当該合格者の数を減じた人数を連携型選抜の募集人数に加えて、合格させることができる。

9 合格者の発表

合格者の発表は、**3月14日（木）午後3時**に連携型高等学校において行う。

連携型高等学校長は、選抜の結果を**連携型選抜結果通知書（様式G）**及び**合格通知書（様式H）**により連携型中学校長に通知する。

10 合格者数等の報告

- (1) 連携型高等学校長は、合格者決定後、**3月14日（木）正午**までに合格者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 連携型高等学校長は、**3月22日（金）**までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

11 合格者の取扱い

連携型選抜による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

VI 社会人特別選抜（定時制課程）

1 社会人特別選抜の実施

- (1) 定時制課程の高等学校は、社会人を対象とした特別の選抜（以下「社会人特別選抜」という。）を実施することができる。

社会人特別選抜を実施する高等学校にあつては、実施学科名、募集人数及び学力検査の教科等を所属教育委員会教育長に申請し、承認を受けること。

- (2) 社会人特別選抜を実施する高等学校、学科等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

社会人特別選抜に出願できる者は、「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、次の(1)及び(2)の全ての条件に該当する者とする。

- (1) 事業所勤務者については、合わせて3年以上勤務した者又は令和6年3月31日現在において合わせて3年以上勤務する見込みの者。また、自営業者、家事従事者等については、当該業務従事を「勤務」とみなし、上記の勤務年数に係る条件を満たす者。

なお、当該業務従事年数と事業所勤務年数とを合わせて勤務年数とすることができる。

- (2) 次の条件を満たし、勤務先の所属長など責任をもって本人を推薦できる者（以下「所属長等」という。）の推薦を得た者。

イ 勤務態度等が優秀で、人物が優れていること。

ロ 当該高等学校、学科等を志望する動機や理由が明確で適切であること。

ハ 当該高等学校、学科等に対する適性及び興味・関心を有すること。

3 出願制限

- (1) 出願できる高等学校は、社会人特別選抜を実施する高等学校の一つに限る。
- (2) 出願できる学科は、一つに限る。

4 出願手続

- (1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（定時制課程950円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

仙台市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例で定める額の手数料（定時制課程950

円)を金融機関に納入し、納入通知書兼領収書を、願書裏面に貼付すること。

- ② 受験票等送付用封筒 所属長等宛て及び中学校長宛て 各1枚

それぞれ、長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、所属長等名、住所、郵便番号等を明記したもの

- ③ 結果通知用封筒 所属長等宛て及び中学校長宛て 各1枚

それぞれ、角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、所属長等名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 所属長等が用意するもの

- ④ 社会人特別選抜推薦書(様式J)(所属長等が作成し厳封したもの)

ハ 中学校が用意するもの

- ⑤ 調査書(様式B)(中学校長が作成し厳封したもの)

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

社会人特別選抜志願者は、上記(1)の①～⑤を所属長等を経て高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「社会人特別選抜願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑤の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は添付の手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受領した高等学校においては、出願書類受領書(様式D)を交付する。

5 出願期間

第一次募集の出願期間(「Ⅲ 第一次募集」の「6 出願期間」(9頁))に同じ。

6 出願者数等の報告

第一次募集の出願者数等の報告(「Ⅲ 第一次募集」の「7 出願者数等の報告」(9頁))に同じ。

7 受験票等の送付

- (1) 高等学校長は、出願者が「2 出願資格」を満たしているかを審査する。その際、高等学校長は、所属長等及び中学校長並びに出願者に問い合わせることができる。
- (2) 高等学校長は2月22日（木）までに、受験票送付一覧（様式F）及び出願資格を満たしている出願者の受験票を所属長等に、また、受験票送付一覧の写しを中学校長に簡易書留速達で送付する。
- (3) 「2 出願資格」を満たしている出願者は、所属長等から受験票を受け取る。

8 学力検査及び面接等

「Ⅲ 第一次募集」の「9 面接、実技、作文」（10頁）に準ずる。ただし、学力検査については、一部の教科又は全ての教科を実施しないことができるものとし、実施内容等については、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表し、詳細は受験票送付時に当該高等学校長から所属長等を通じて本人に通知する。

9 選抜

選抜は、推薦書、調査書、学力検査及び面接等の結果に基づく総合的な審査により行う。

10 合格者の発表

合格者の発表は、3月14日（木）午後3時に各高等学校において行う。

高等学校長は、選抜の結果を、社会人特別選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により所属長等へ通知する（3月14日（木）午後3時頃に郵便で発送する。）。また、中学校長には社会人特別選抜結果通知書（様式G）の写しを送付する。

11 合格者数等の報告

「Ⅲ 第一次募集」の「13 合格者数等の報告」（12頁）に準ずる。

12 合格者の取扱い

社会人特別選抜による合格者は、第二次募集及び通信制課程の選抜に出願できない。

Ⅶ 県外からの出願（全日制・定時制課程）

県外から第一次募集、第二次募集及び社会人特別選抜に出願する者については、次の諸点に留意すること。

1 出願承認の申請

県外に住所を有する者又は県外の中学校を卒業した者（令和6年3月卒業見込みの者を含む。）が、以下の(1)及び(2)に掲げるやむを得ない理由で宮城県内の公立高等学校に入学を志願する場合は、**宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）**を志願する高等学校長に提出し、承認を受けなければならない。ただし、県境隣接協定（72頁）による志願者を除く。

(1) 住所の異動によるもの

イ 保護者の転勤等に伴う一家転住によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合

ロ その他特別な家庭の事情によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合（例えば、保護者の海外勤務に伴って、保護者に準ずる者に志願者の保護を託した場合等）

(2) その他

上記(1)のほか、当該高等学校に就学することが、特にやむを得ないと認められる合理的事由がある場合

2 出願承認の申請手続

(1) 県外からの志願者は、以下のイ及びロの書類を高等学校長に提出する。

なお、書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。

イ **宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）**

ロ **返信用封筒 1枚**

長形3号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

(2) 受付期間

受付期間は、**12月12日（火）から2月15日（木）**までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く。）。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**2月15日（木）は午前11時**までとする。

なお、出願承認の申請は、可能な限り早い時期に行うこと。

(3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

高等学校長は、**宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）**を受理した場合には、県外からの出願審査委員会を設けるなどして、公正かつ適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、**宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）**を交付する。

上記「1 出願承認の申請」の(1)について審査が困難な場合及び(2)の場合は、高等学校長は、所属教育委員会教育長と協議を行う。

- (4) 高等学校長は、**宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）**を交付した者について、**3月4日（月）**までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

3 出願手続

- (1) 県外からの出願が承認された後の志願変更について

出願に当たっては、出願承認を受けた高等学校から、他の高等学校に志願を変更することができる。ただし、第二次募集出願時において県外からの出願承認を受けた者は、出願承認を受けた高等学校から他の高等学校に志願を変更することはできない。

- (2) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① **入学願書及び写真票**

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立高等学校志願者にあつては県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を貼付すること。ただし、**収入証紙に消印、割印しないこと。**

市立高等学校志願者にあつては、仙台市条例又は石巻市条例で定める額の手数料（全日制課程は2,200円、定時制課程は950円）を金融機関に納入し、仙台市立高等学校志願者にあつては**納入通知書兼領収書**を、石巻市立高等学校志願者にあつては**納入通知書兼領収証書**を、願書裏面に貼付すること。

② **宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写し 1通**

「2 出願承認の申請手続」の「(3)」で交付された書類の写し

ロ 中学校が用意するもの

③ **調査書（様式B）**（中学校長が作成し、厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

④ **出願者一覧表（様式C） 1通**

第二次募集に出願する場合は、「IV 第二次募集」の「5 出願手続 (1) ロ③」（16頁）を参照すること。

⑤ **受験票等送付用封筒 1枚**

角形2号封筒に、**簡易書留速達郵便料金分**の切手を貼付し、当該中学校の校長名、

住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑥ **結果通知用封筒** 1枚

角形2号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

(3) 出願書類の提出方法

志願者は、上記(2)の①～⑥を高等学校長に提出する。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(2)の①～⑥の出願書類(貼付の宮城県収入証紙又は金融機関に納入した手数料のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(4) 受験票の受領方法

出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

ただし、出願者が中学校長から受験票を受け取ることが難しく、高等学校から直接受験票を受け取ることを希望する場合には、当該中学校はその旨を高等学校に連絡する。志願者は、上記(2)の①～⑥のほかに、当該中学校長が作成した委任状(任意様式)を提出する。委任状を受領した高等学校は、出願者又は代理人等に受験票を直接交付する。

なお、出願者宛て郵送での交付を希望する場合には、上記(2)の⑤に郵送を希望する住所を明記すること。

(5) 合格通知書の受領方法

合格者は、中学校長から合格通知書を受け取る。

ただし、合格者が中学校長から合格通知書を受け取ることが難しく、高等学校から直接合格通知書を受け取ることを希望する場合には、当該中学校はその旨を高等学校に連絡する。合格者は、当該中学校長が作成した委任状(任意様式)を高等学校に持参し、高等学校は、委任状を受領して合格者に合格通知書を交付する。

なお、この場合、結果通知用封筒では、**結果通知書(様式G)**のみを中学校に送付する。

4 県外からの出願の特例措置

- (1) 県外に住所を有する者又は県外の中学校を卒業した者(令和6年3月卒業見込みの者を含む。)であって、やむを得ない理由により所定の期間内に本県の公立高等学校に出願手続きができなかった者については、所定の期間後であっても、審査の上、特例として出願を認めることがある。この特例措置による出願を必要とする場合には、関係書類(24頁参照)を整え、高等学校長に申請し、承認を受ける。

なお、この特例措置は、第一次募集にのみ適用される。

- (2) 上記(1)の申請期間は**2月19日(月)**から**2月29日(木)**までとする(ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。)。申請受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**2月29日(木)**は**午前11時**までとする。
- (3) 特例措置の承認を受けた者は、上記(2)の申請期間内に高等学校に出願の手続きを済ませること(ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。)。出願受付時間は、午前9時から午後4時までとし、**2月29日(木)**は**正午**までとする。
- (4) 高等学校長は、特例措置による**宮城県公立高等学校出願承認書(様式L)**を交付した者について**3月4日(月)**までに県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に電子メールで報告する。

なお、市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長(高校教育課教育指導第二班宛て)に報告する。

VIII 全国募集選抜

1 全国募集選抜の実施

- (1) 宮城県中新田高等学校及び宮城県南三陸高等学校（以下「全国募集実施高等学校」という。）において、県外からの志願者を対象とした入学者選抜（以下「全国募集選抜」という。）を実施する。
- (2) 全国募集実施高等学校は、学科ごとに選抜方法等を県教育委員会教育長に申請し、承認を受ける。
- (3) 全国募集選抜に係る募集人数は、宮城県公立高等学校入学者募集定員とは別に定め、「求める生徒像・選抜方法一覧」で公表する。

2 出願資格

全国募集選抜に出願できる者は、次の(1)～(3)をすべて満たす者とする。

- (1) 全国募集実施高等学校が所在する市町村（以下「関係市町村」という。）及び地域での学びに関心があり、志願先の全国募集実施高等学校への志願理由が明確であること。
- (2) 志願者及び保護者が宮城県外に居住していること。
- (3) 志願者が志願先の全国募集実施高等学校への入学期日までに、宮城県内に居住する予定であること。

3 出願制限

出願できる高等学校、学科は、一つに限る。

4 出願承認の申請

出願を希望する志願者及び保護者は、志願先の全国募集実施高等学校及び関係市町村を事前に訪問、見学等を行い、全国募集実施高等学校及び関係市町村から出願に係る諸手続のほか、入学後の学習環境や居住環境等について十分な説明を受けること。さらに、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）及び身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）を志願する全国募集実施高等学校長に提出し、出願について承認を受けなければならない。なお、身元引受人の確保については、関係市町村に依頼することができる。

5 出願承認の申請手続

- (1) 全国募集選抜の志願者は、以下のイ、ロ及びハの書類を全国募集実施高等学校長に提出する。
なお、書類の提出を郵送により行う場合は、封筒に「出願承認願在中」と朱書すること。
 - イ 宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）
 - ロ 身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）

ハ 返信用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、宛先等を明記したもの

(2) 受付期間

受付期間は、12月12日（火）から2月15日（木）までとする（ただし、土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く。）。受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月15日（木）は午前11時までとする。

なお、出願承認の申請は、可能な限り早い時期に行うこと。

(3) 宮城県公立高等学校出願承認書の交付

全国募集実施高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認願（県外からの出願者用）（様式K-2）及び身元引受人報告書・身元引受承諾書（様式K-4）を受理した場合には、審査の上、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付する。

(4) 高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）を交付した者について、3月4日（月）までに県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

6 出願手続

(1) 全国募集選抜の出願が承認された後の志願変更について

出願に当たっては、出願承認を受けた高等学校から、他の高等学校に志願を変更することはできない。

(2) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票

入学願書には、入学者選抜手数料として、県立学校条例で定める額の宮城県収入証紙（全日制課程2,200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の写し 1通

「5 出願承認の申請手続き」の「(3)」で交付された書類の写し

③ 志願理由書（全国募集選抜用）

ロ 中学校が用意するもの

④ 調査書（様式B）（中学校長が作成し、厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

⑤ 出願者一覧表（様式C） 1通

⑥ 受験票等送付用封筒 1枚

角形2号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

⑦ **結果通知用封筒** 1枚

角形2号封筒に、**簡易書留速達**郵便料金分の切手を貼付し、当該中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、**全国募集選抜結果通知書（様式G）**及び**合格通知書（様式H）**の郵送を希望する場合のみ提出すること。

(3) 出願書類の提出方法

全国募集選抜志願者は、上記(2)の①～⑦を高等学校長に提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出を郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「全国募集選抜願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(2)の①～⑦の出願書類（貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。）

は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(4) 出願受付

イ 全国募集選抜への出願については、**宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）**の写しが添付されていることを確認の上、受理すること。

ロ 出願書類を受理した全国募集実施高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

(5) 受験票の受領方法

出願者は、中学校長から受験票を受け取る。

ただし、出願者が中学校長から受験票を受け取ることが難しく、高等学校から直接受験票を受け取ることを希望する場合には、当該中学校はその旨を高等学校に連絡する。志願者は、上記(2)の①～⑦のほかに、当該中学校長が作成した委任状（任意様式）を提出する。委任状を受領した高等学校は、出願者又は代理人等に受験票を直接交付する。

なお、出願者宛て郵送での交付を希望する場合には、上記(2)の⑥に郵送を希望する住所を明記すること。

7 出願期間

出願受付期間は、**2月13日（火）**から**2月16日（金）**までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**2月16日（金）**は**午前11時**までとする（郵送する場合であっても、**2月16日（金）午前11時まで**に必着のこと。）。

8 出願者数等の報告

全国募集実施高等学校長は、2月16日（金）午前11時の出願締切後直ちに、全国募集選抜出願者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。

9 学力検査及び面接

- (1) 学力検査は、3月5日（火）に全国募集実施高等学校において実施する。
- (2) 学力検査を実施する教科は、国語、数学、社会、英語及び理科とする。
- (3) 学力検査の日程は、次の表のとおりとする。

時間 月 日	8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
3月5日(火)	受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- (4) 学力検査を受ける際、分度器（分度器機能付きの定規を含む。）の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類（スマートフォン・スマートウォッチ等を含む。）の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。指示に従わない場合は不正行為とみなす。
- (5) 面接は3月5日（火）の学力検査終了後に全国募集実施高等学校において実施する。
- (6) 面接の実施時間等については全国募集実施高等学校で定め、受験票交付時に当該高等学校長から中学校長を通じて、受験者に通知する。
- (7) 面接は、提出された志願理由書に基づいて複数の担当者で実施する。実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

10 選抜

- (1) 全国募集実施高等学校は、調査書、学力検査及び面接の結果等に基づいて総合的に審査し、選抜する。
- (2) 全国募集実施高等学校長は、第一次募集及び連携型選抜による県内中学生の合格者の数が、あらかじめ定めた第一次募集及び連携型選抜による募集定員に満たない場合、当該募集定員から当該合格者の数を減じた人数を全国募集選抜の募集人数に加えて合格させることができる。

11 合格者の発表

合格者の発表は、3月14日（木）午後3時に全国募集実施高等学校において行う。

全国募集実施高等学校長は、選抜の結果を全国募集選抜結果通知書（様式G）及び合格通知書（様式H）により中学校長に通知する。

ただし、合格者が中学校長から合格通知書を受け取ることが難しく、高等学校から直接合格通知書を受け取ることを希望する場合には、当該中学校はその旨を高等学校に連絡する。合格者は、当該中学校長が作成した委任状（任意様式）を高等学校に持参し、高等学校は、委任状を受領し

て合格者に合格通知書を交付する。

なお、この場合、結果通知用封筒では、**結果通知書（様式G）**のみを中学校に送付する。

12 合格者数等の報告

- (1) 全国募集実施高等学校長は、合格者決定後、**3月14日（木）正午**までに合格者数等（学科別）を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に電子メールで報告する。
- (2) 全国募集実施高等学校長は、**3月22日（金）**までに検査等の実施状況を県教育長（高校教育課教育指導第二班宛て）に報告する。

Ⅹ 通信制課程

第1 通信制課程の入学者選抜の実施

通信制高等学校（美田園高等学校）は一期入学者選抜及び二期入学者選抜を実施する。

第2 一期入学者選抜（令和6年春募集）

1 募集人数

一期入学者選抜の募集人数は、募集定員の90%とする。

2 出願資格

「Ⅰ 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。ただし、第一次募集、社会人特別選抜及び連携型選抜のいずれかに合格した者は出願することができない。

3 出願制限

- (1) 第一次募集に出願中の者は合否が確定するまで出願することができない。
- (2) 第二次募集との併願はできない。

4 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票（美田園高等学校で定める様式）

入学願書には、入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（通信制課程200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 志願理由書（美田園高等学校で定める様式）

③ 受験票等送付用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

④ 結果通知用封筒 1枚

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの

⑤ 中学校用結果通知用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 中学校が用意するもの

⑥ 調査書（様式B）（中学校長が作成し厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

志願者は、上記(1)の①～⑥を高等学校長に**直接**提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出をやむを得ず郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑥の出願書類（貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。）は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

5 出願期間

出願受付期間は**3月11日（月）**から**3月18日（月）**までとする。（ただし3月16日（土）は除く。）

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**3月18日（月）**は**午前11時まで**とする（郵送する場合であっても、**3月18日（月）午前11時までに必着**のこと。）。

6 面接

(1) 実施日時

3月19日（火）、3月21日（木）、3月22日（金）の3日間のうち、高等学校長が指定した日時で行うこととし、出願後、高等学校長から本人に直接通知する。

(2) 実施に当たっての留意事項

イ 面接の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

ロ 面接は、複数の担当者で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう考慮すること。

7 選抜

選抜は、書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

8 結果の通知

高等学校長は、選抜の結果を、直接本人に通知する（**3月25日（月）**に郵便で発送する。）。また、中学校長には、**結果通知書の写し**を送付する。

9 その他

入学願書及び写真票、志願理由書、入学案内等は、実施校において配付する。

第3 二期入学者選抜（令和6年秋募集）

1 募集人数

二期入学者選抜の募集人数は、募集定員の10%とする。

なお、「IX 通信制課程」の「第2 一期入学者選抜（令和6年春募集）」による入学者が一期入学者選抜の募集人数に満たない場合には、一期入学者選抜の募集人数から一期入学者選抜の合格者数を減じた数を二期入学者選抜の募集人数に加えることができる。

2 出願資格

「I 募集及び出願」の「2 出願資格」（4頁）による。

3 出願手続

(1) 出願書類

イ 志願者が用意するもの

① 入学願書及び写真票（美田園高等学校で定める様式）

入学願書には、入学者選抜手数料として、宮城県収入証紙（通信制課程200円）を貼付すること。ただし、収入証紙に消印、割印しないこと。

② 志願理由書（美田園高等学校で定める様式）

③ 受験票等送付用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの。ただし、受験票の郵送を希望する場合のみ提出すること。

④ 結果通知用封筒 1枚

角形2号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、志願者の氏名、住所、郵便番号等を明記したもの

⑤ 中学校用結果通知用封筒 1枚

長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手を貼付し、中学校の校長名、住所、郵便番号等を明記したもの

ロ 中学校が用意するもの

⑥ 調査書（様式B）（中学校長が作成し厳封したもの）

調査書の記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

なお、平成31年3月末日までに中学校を卒業した者については、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

(2) 出願書類の提出方法

志願者は、上記(1)の①～⑥を高等学校長に**直接**提出し、受験票の交付を受ける。

なお、出願書類の提出をやむを得ず郵送により行う場合は簡易書留とし、封筒に「入学願書在中」と朱書すること。

(注意) 上記(1)の①～⑥の出願書類(貼付の宮城県収入証紙のほか、返信用の切手も含む。)は、高等学校においていったん受理した後は、出願期間内であっても返還しないので注意すること。

(3) 出願受付

出願書類を受理した高等学校においては、受験番号を付した受験票を交付する。

4 出願期間

出願受付期間は**令和6年9月2日(月)**から**9月6日(金)**までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**9月6日(金)**は**午前11時**までとする(郵送する場合であっても、**9月6日(金)午前11時まで**に**必着**のこと。)

5 面接

(1) 実施日時

9月10日(火)、**9月11日(水)**、**9月12日(木)**の3日間のうち、高等学校長が指定した日時で行うこととし、出願後、高等学校長から本人に直接通知する。

(2) 実施に当たっての留意事項

イ 面接の内容及び時間については、適切なものとなるよう考慮すること。

ロ 面接は、複数の担当で実施し、実施に当たっては、客観的かつ公平であるよう配慮すること。

6 選抜

選抜は、書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

7 結果の通知

高等学校長は、選抜の結果を、直接本人に通知する(**9月13日(金)**に郵便で発送する。)。また、中学校長には、**結果通知書の写し**を送付する。

8 その他

入学願書及び写真票、志願理由書、入学案内等は、実施校において配付する。

X その他

1 学力検査及び面接等の実施上、配慮を要する者の取扱い

- (1) 中学校長は、身体上的こと等で特に配慮を要する者及び海外帰国者等で配慮を要する者の学力検査及び面接等については、事前に志願する高等学校長と電話等で連絡・調整の上、令和5年12月以降のできるだけ早い時期に、高等学校長に**受験上の配慮申請書（様式P）**により申請する。
- (2) **受験上の配慮申請書（様式P）**を受理した高等学校においては、所属教育委員会教育長と事前に協議の上、配慮することが妥当であることを認めた場合、配慮の内容を当該中学校長に**受験上の配慮通知（様式Q）**により通知する。
- (3) 海外帰国者等で配慮を要する者については、「7 海外帰国者等の取扱いに関する留意事項」（38頁）による。

2 進路指導と助言

- (1) 専門学科において、当該学科の教育課程を履修することが身体上的ことで極めて困難と認められる場合は、入学を許可しないことがある。
- (2) 中学校長は、身体上的こと等で志望学科又は卒業後の進路について相談する必要がある生徒について、あらかじめ関係高等学校長の助言を得るなど適切な進路指導を行う。
- (3) 高等学校長は、身体上的こと等で志望学科又は卒業後の進路について、中学校長から相談を受けた場合は、必要な助言を行う。

3 特別な事情を有する生徒の副申書に関する取扱い

中学校長は、心理的なこと、情緒的なこと、身体的なことなど特別な事情を有する生徒について副申書を添付するときは、進学後の参考となる事柄について記載する。
高等学校長は、副申書の記載内容について特に配慮することができる。

4 不正行為の扱い

不正行為を行った者については、選抜の対象から除かれる場合がある。

5 合格した生徒の生徒指導要録抄本等の送付

中学校長は、入学者選抜で合格した生徒の指導要録抄本又は原本の写し、児童生徒健康診断票（一般）及び児童生徒健康診断票（歯・口腔）等を当該高等学校長に**3月26日（火）**までに親展扱いにて持参又は簡易書留で送付すること。ただし、通信制課程に関する選抜で合格した生徒については、**合格が確認でき次第直ちに送付すること。**

なお、児童生徒健康診断票は中学校在籍期間について記載されたものとする。また、平成30年

3月末日までに中学校を卒業した者については、児童生徒健康診断票の送付は不要とする。

6 入学者選抜に係る検査の得点の開示

開示を希望する受験生等は、受験した高等学校に直接申し出ること。開示の方法及び期間等については別に通知する。

7 海外帰国者等の取扱いに関する留意事項

海外帰国者等の選抜については弾力的に対応するため、次の諸点に留意して事務処理に当たること。

(1) 「海外帰国者等」とは、次の者をいう。

イ 海外帰国者

出願時において、海外滞在が1年以上で、帰国後3年未満の者

ロ 中国残留孤児の子

ハ 日本在留外国人の子

「家族滞在」等の在留資格で県内に居住又は居住予定の者

(2) 「弾力的に対応する」とは、次のような配慮をすることであり、高等学校長はこれらを必要に応じて行うことができる。

イ 学力検査及び面接等の実施の参考とするため、事前に面接、作文等を行い、日本語の能力をみること。

ロ イの結果などにより、学力検査において、教科数を減じたり、個々の日本語の能力に応じて実施時間を延長したりすること。

ハ その他選抜において、特に必要なことについて配慮すること。

(3) 出願資格等について疑義がある場合は、県教育庁高校教育課教育指導第二班、仙台市教育局学校教育課高校教育課又は石巻市教育委員会学校教育課に照会すること。

出願書類

○は必須、△は必要に応じて提出する書類

	書 類	第 一 次 募 集	第 二 次 募 集	連 携 型 選 抜	社 会 人 特 別	全 国 募 集 選 抜	通 信 制 課 程	備 考
志 願 者	入学願書及び写真票	○	○	○	○	○	○	宮城県収入証紙、仙台市納入通知書兼領収書 又は石巻市納入通知書兼領収証書貼付
	志願理由書	—	—	—	—	○	—	全国募集選抜用の様式
	志願理由書	—	—	—	—	—	○	美田園高等学校で定める様式
	推薦書	—	—	—	○	—	—	社会人特別選抜志願者の所属長等が作成
	受験票等送付用封筒	—	—	—	○ ※	—	△	長形3号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、志願者氏名等を明記
	結果通知用封筒	—	—	—	○ ※	—	○	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、志願者氏名等を明記
中 学 校 長	調査書	○	○	○	○	○	○	
	出願者一覧表	○	○	○	—	○	—	
	受験票等送付用封筒	△ 角 2	△ 長 3	△ 角 2	—	△ 角 2	—	角形2号封筒又は長形3号封筒（簡易書留速 達郵便料金分の切手貼付）住所、中学校長名 等を明記
	結果通知用封筒	△	△	○	—	△	—	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、中学校長名等を明記

※ 社会人特別選抜の出願においては、受験票等送付用封筒、結果通知用封筒を各2枚準備し、宛名はそれぞれ所属長等及び中学校長とする。

※ 県外からの出願及び全国募集選抜の出願においては、宮城県公立高等学校出願承認書の写しを同封すること。

【参考】郵便料金

基本料金			速達	簡易書留	合計
定形郵便物	25g以内	84円	260円 (250gまで)	350円	694円
	50g以内	94円			704円
定形外郵便物	50g以内	120円			730円
	100g以内	140円			750円
	150g以内	210円			820円
	250g以内	250円			860円

(例1) 角形2号封筒 ……約 25g
 受験票 (10枚) ……約 25g
 A4判普通紙 (10枚) ……約 55g 計 約105g → 簡易書留速達料金 820円

(例2) 長形3号封筒 ……約 10g
 受験票 (20枚) ……約 50g
 A4判普通紙 (20枚) ……約110g 計 約170g → 簡易書留速達料金 860円

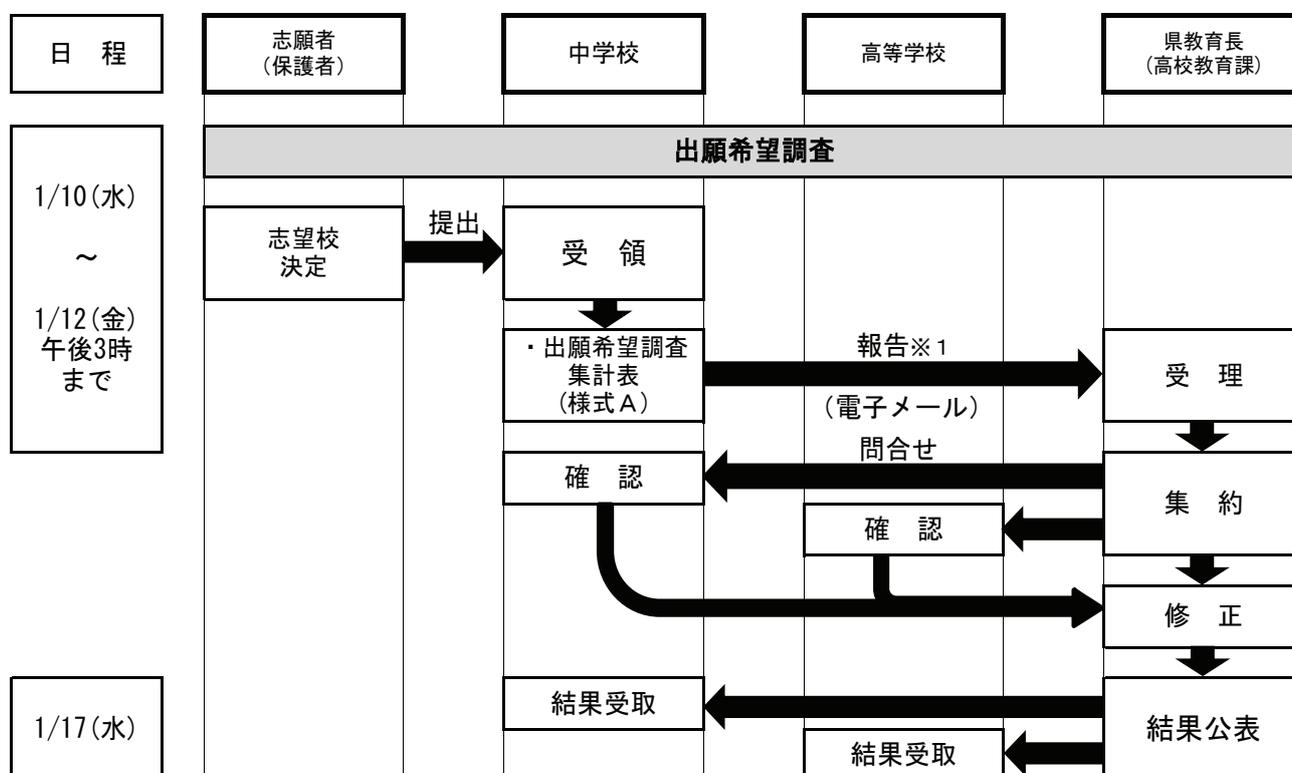
【入試のフロー図（概要）】

◆入学者選抜事務説明会

（中学校の進路指導担当者及び高等学校の入学者選抜事務担当者）

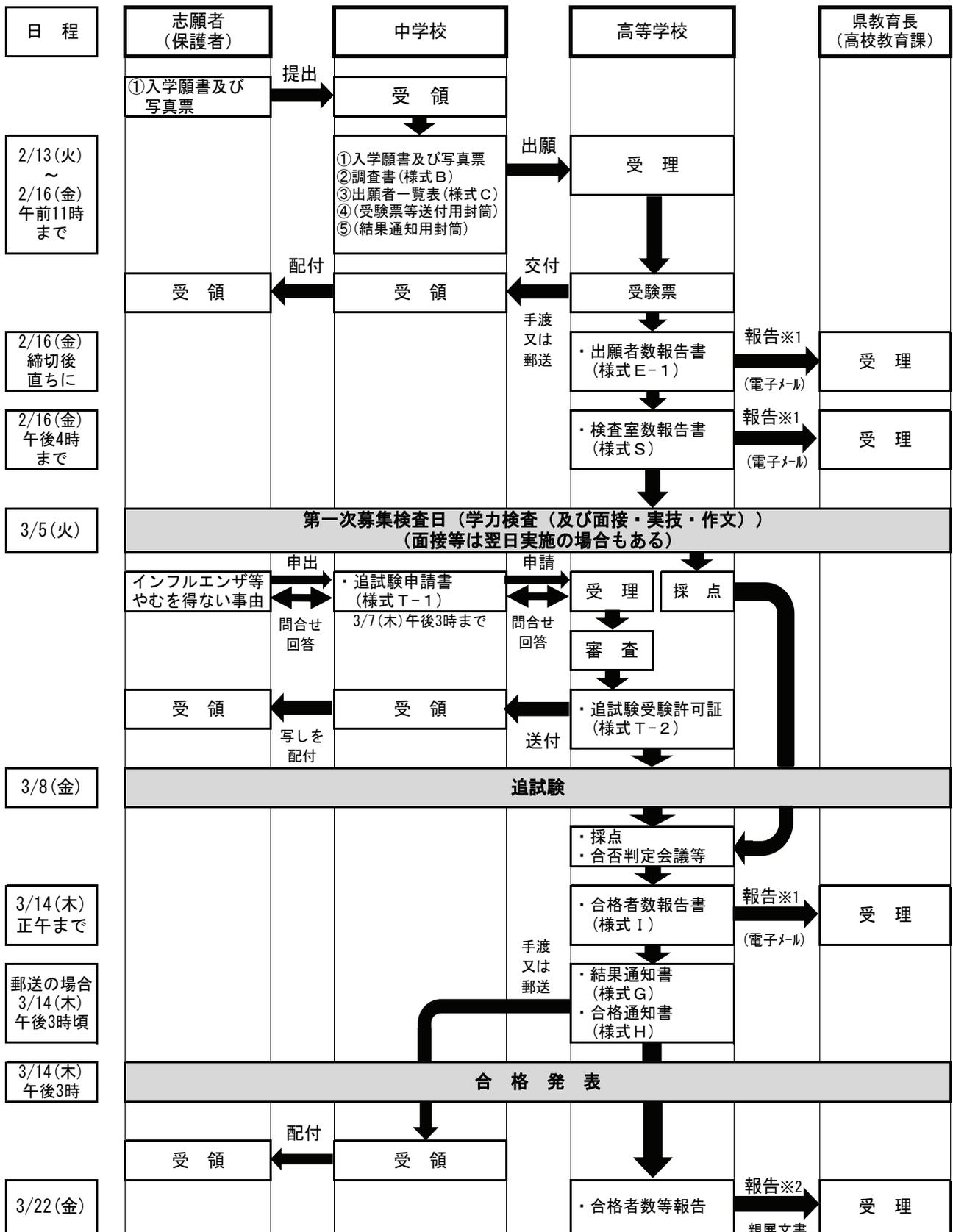
地区	要項等説明の対象となる学校		開催日	会場
	中学校（管内）	高等学校（地区）		
中部北	仙台市教育委員会 仙台教育事務所	仙台北 塩釜 黒川	9月29日（金）	仙台市教育センター
中部南	仙台市教育委員会 仙台教育事務所 県立中学校	仙台南 亙理名取	9月29日（金）	
北部	北部教育事務所 県立中学校	大崎 遠田 栗原	10月 2日（月）	大崎合同庁舎
東部	石巻市教育委員会 東部教育事務所 （登米市立中学校を除く）	石巻	10月 3日（火）	河北総合センタービッグバン
南部	大河原教育事務所	刈田柴田 伊具	10月 4日（水）	大河原合同庁舎
登米・ 気仙沼	東部教育事務所 （登米市立中学校） 気仙沼教育事務所	登米 本吉	10月 5日（木）	登米合同庁舎

◆出願希望調査の流れ



※1 仙台市立中学校にあっては、仙台市教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

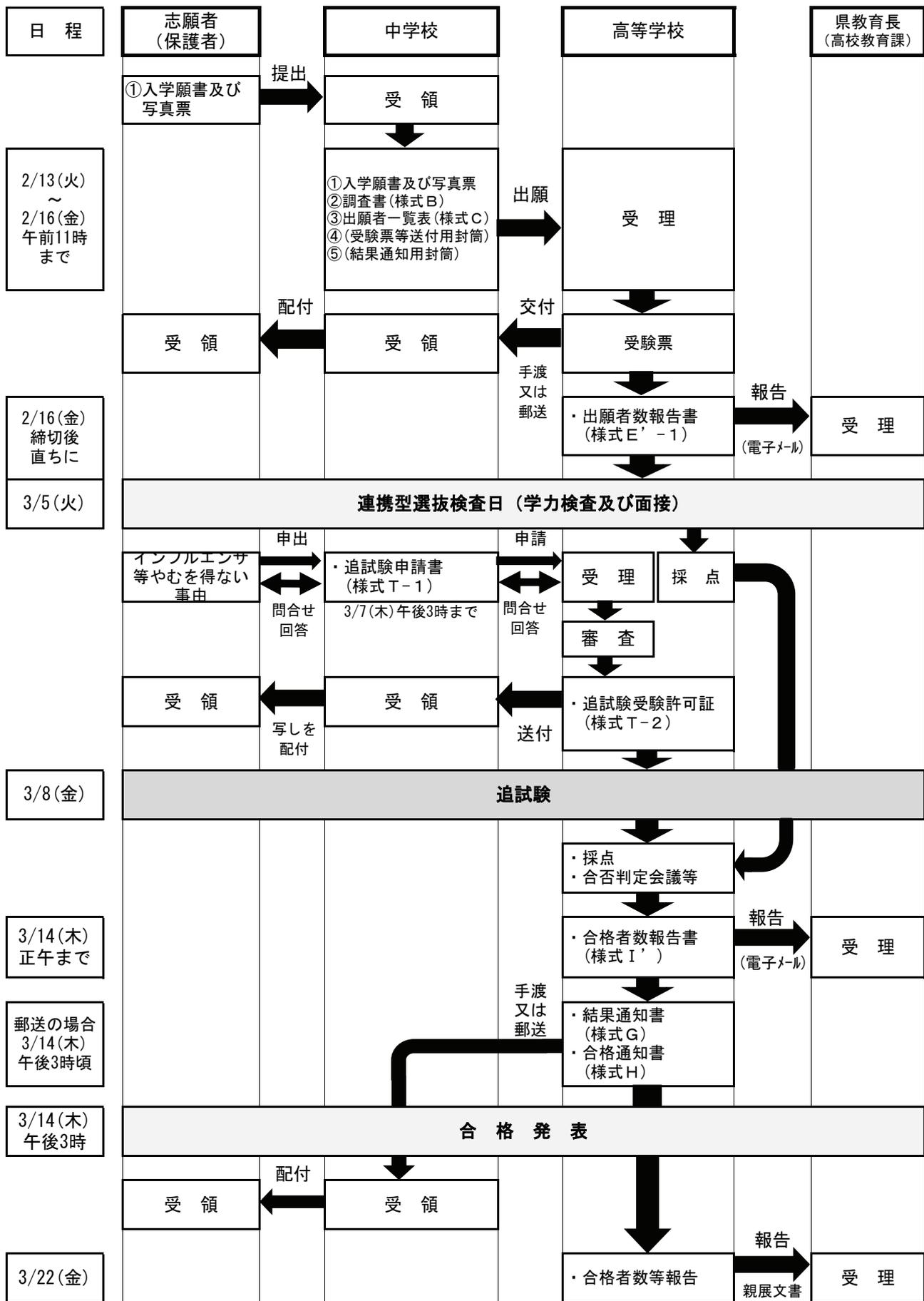
◆第一次募集の流れ



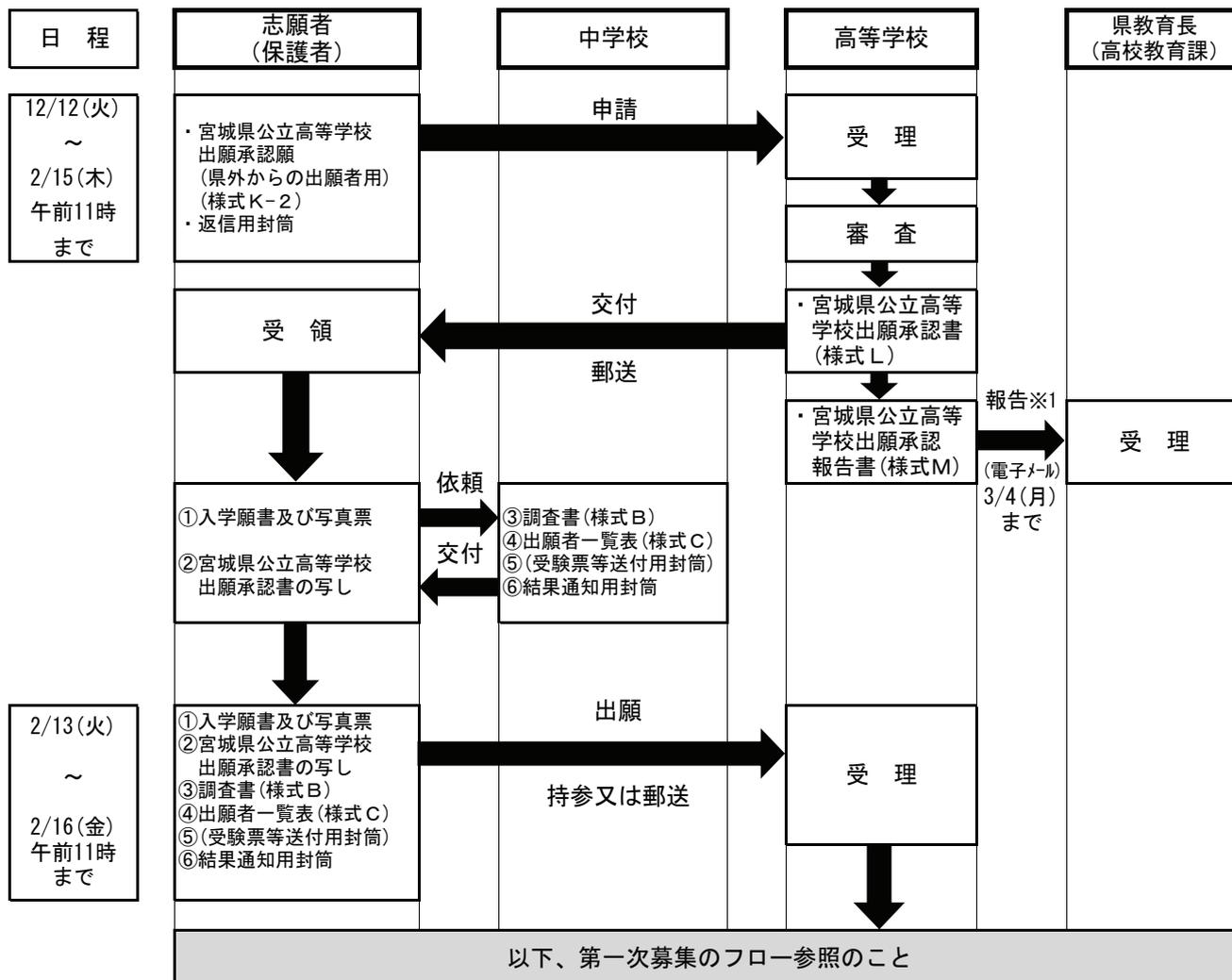
※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

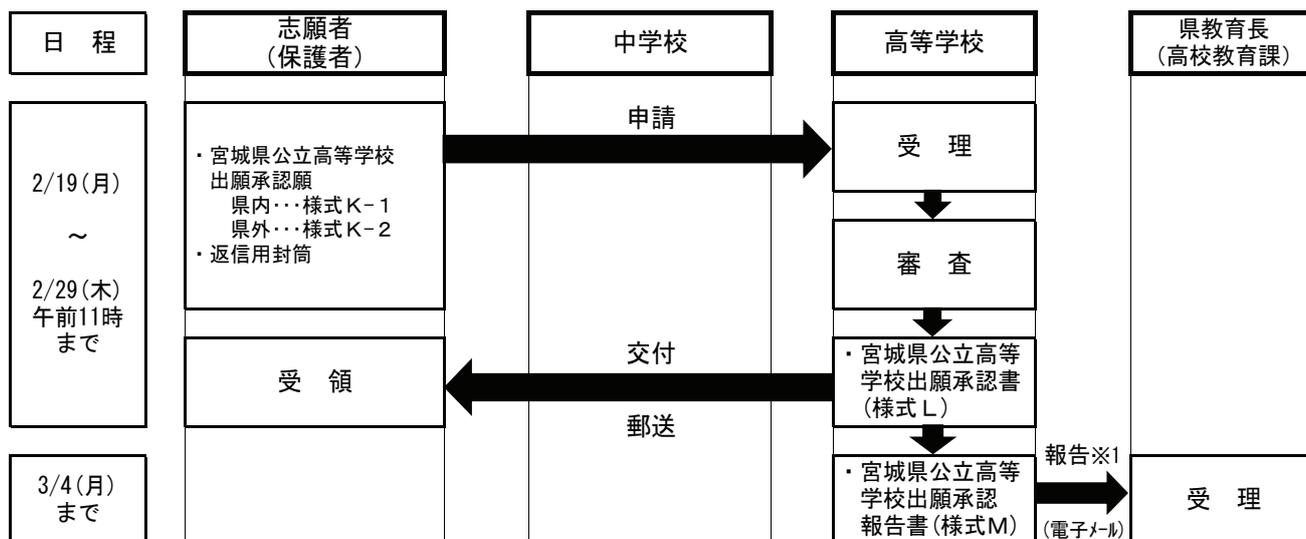
◆連携型選抜の流れ



◆県外からの出願の流れ

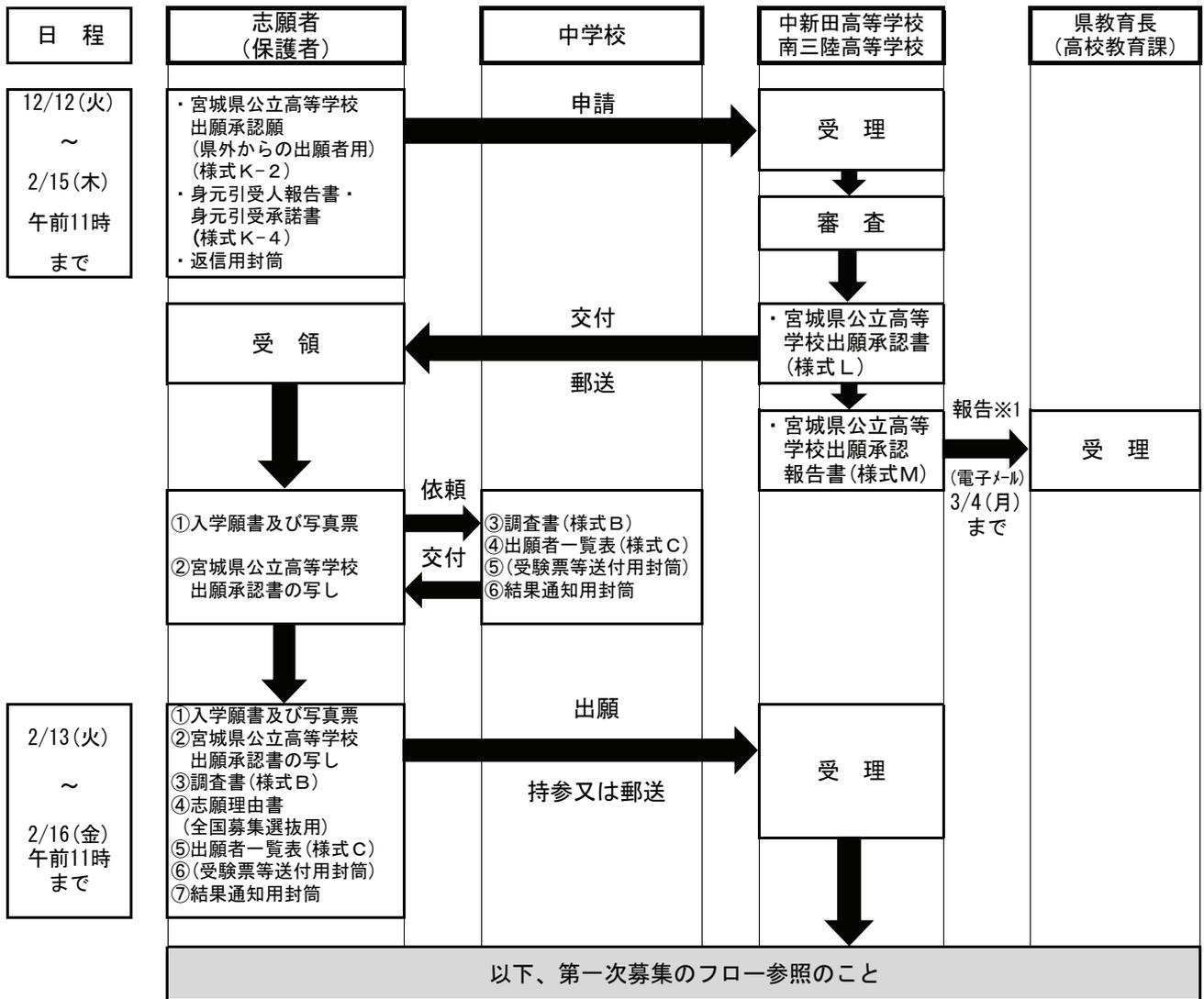


◆特例措置の流れ (第一次募集)

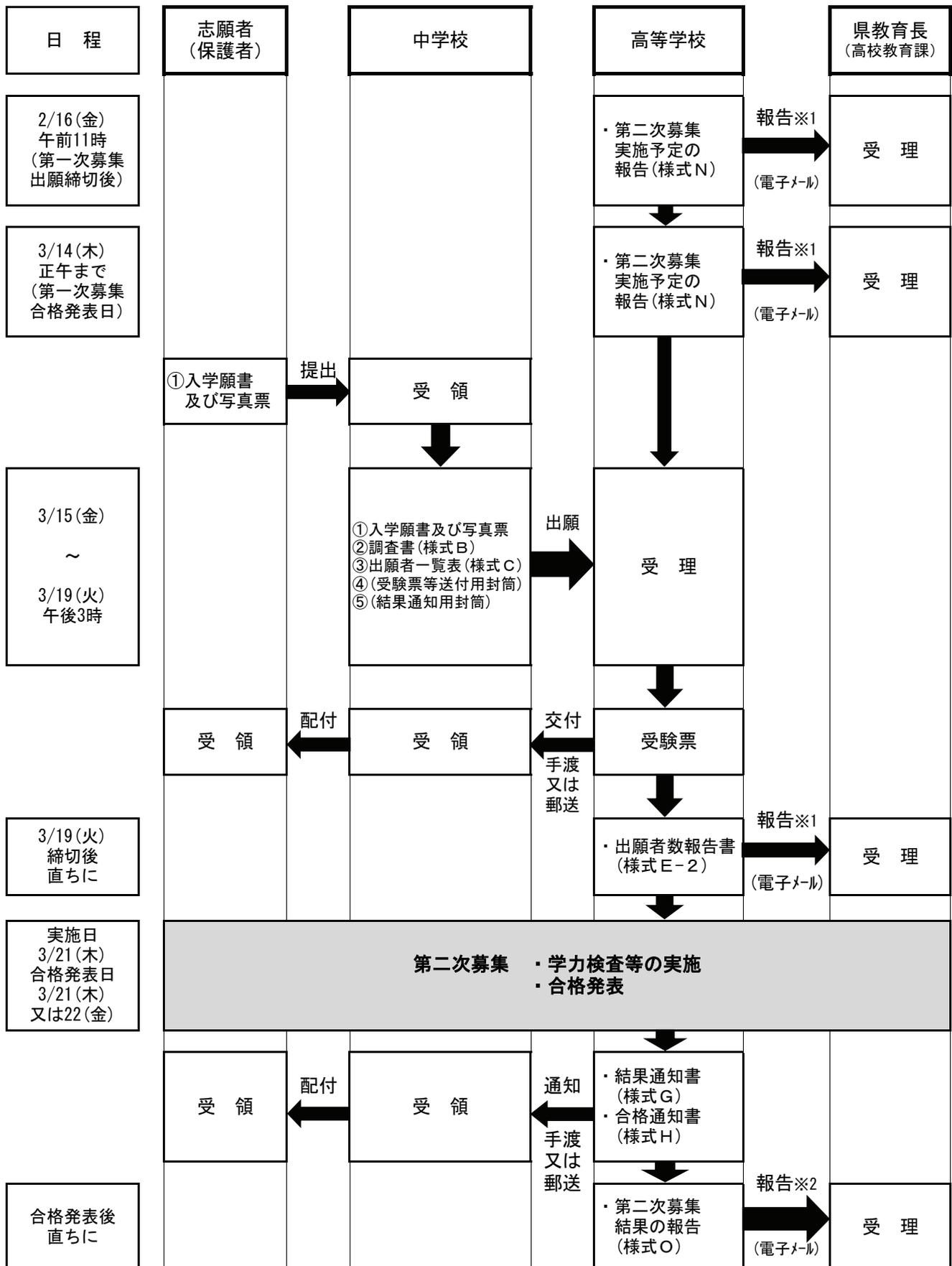


※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

◆全国募集選抜の出願の流れ



◆第二次募集の流れ



※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。
 ※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

地区処理委員会

- 1 公立高等学校入学者選抜に係る事務を円滑に処理するため、地区処理委員会を下記の表のとおり設置する。
- 2 地区処理委員会は、次の事項を処理する。
 - (1) 県教育庁、各高等学校及び各中学校との連絡
 - (2) 学力検査問題等の受領、保管及び配付
 - (3) その他選抜事務に関する必要な事項
- 3 地区処理委員会は、各地区内の公立高等学校長をもって構成する。
- 4 地区処理委員会の事務局を、下表のとおり、各地区の高等学校に置く。
- 5 地区処理委員会の委員長は、事務局所在の高等学校長とする。

地 区 処 理 委 員 会		事務局校
刈田柴田地区	白石、蔵王、白石工業、村田、大河原産業、柴田、柴田農林川崎	白石 7
伊具地区	角田、伊具	角田 2
亘理名取地区	名取、名取北、亘理、農業	名取 4
仙台南地区	仙台一、仙台二華、仙台三桜、仙台向山、仙台南、仙台西、仙台東、工業、第二工業、仙台工業※、仙台大志※	仙台一 11
仙台北地区	仙台二、仙台三、宮城一、宮城広瀬、泉、泉松陵、泉館山、宮城野、仙台※、仙台商業※	仙台二 10
塩釜地区	塩釜、多賀城、松島、利府、貞山	塩釜 5
黒川地区	黒川、富谷	黒川 2
大崎地区	古川、古川黎明、岩出山、中新田、松山、加美農業、古川工業、鹿島台商業	古川 8
遠田地区	涌谷、小牛田農林、南郷、田尻さくら	涌谷 4
登米地区	佐沼、登米、登米総合産業	佐沼 3
栗原地区	築館、岩ヶ崎、迫桜、一迫商業	築館 4
石巻地区	石巻、石巻好文館、石巻西、石巻北、水産、石巻工業、石巻商業、東松島、桜坂※	石巻 9
本吉地区	気仙沼、南三陸、本吉響、気仙沼向洋	気仙沼 4

※は市立高等学校

各種様式一覧

※ 電子データで報告する様式については、後日送付する様式を参考に作成すること。

事項	本文ページ	参照ページ		書類名	報告者又は送付者	経由等	最終報告先又は送付先	締切日等	
		記号	ページ						
出願希望調査の集計	6	A	49	出願希望調査集計表	中学校長	仙台市立中学校に あつては仙台市教育 委員会教育長	県教育庁 高校教育課長	1月12日(金) 午後3時	
第一次募集	第一次募集出願手続	8	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	8	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	8	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	追試験受験申請	11	T-1	63	追試験申請書	中学校長		高等学校長	3月7日(木) 午後3時
	追試験受験許可	11	T-2	64	追試験受験許可証	高等学校長		中学校長	受理後速やかに
	第一次募集結果通知	12	G	53	第一次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	12	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
第二次募集	第二次募集出願手続	15	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	3月19日(火) 午後3時
	"	16	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	16	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	第二次募集結果通知	17	G	53	第二次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	合格発表後 速やかに
"	17	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
連携型選抜	連携型選抜出願手続	18	願書	67	入学願書(連携型選抜)及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	18	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	18	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	連携型選抜結果通知	20	G	53	連携型選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	20	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
社会人特別選抜	社会人特別選抜出願手続	21	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	所属長等	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	22	J	55	社会人特別選抜推薦書	所属長等		高等学校長	
	"	22	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	出願書類受領	22	D	51	出願書類受領書	高等学校長		所属長等	受領後
	受験資格の確認	23	F	52	受験票送付一覧	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	2月22日(木) 午前11時までに発送
	社会人特別選抜結果通知書	23	G	53	社会人特別選抜結果通知書	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	23	H	54	合格通知書	高等学校長	所属長等	合格者		
全国募集選抜	全国募集に係る身元引受人の報告・承諾	28	K-4	58	身元引受人報告書・身元引受承諾書 (全国募集選抜の出願者用)	志願者		高等学校長	出願承認申請時に提出
	全国募集選抜の出願承認	28	K-2	57	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月15日(木) 午前11時
	"	29	L	59	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
	全国募集選抜出願手続	29	願書等	60,65	入学願書及び写真票、志願理由書	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	29	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	29	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
全国募集選抜結果通知	31,32	G	53	全国募集選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時	
"	31	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
特別措置による出願承認	県内特別措置出願承認	13	K-1	56	宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特別措置による出願者用)	志願者		高等学校長	2月29日(木) 午前11時
	県外からの特別措置出願承認	26	K-2	57	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月29日(木) 午前11時
	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の 受験に係る措置による出願承認	76	K-3	78	宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の 受験に係る措置による出願者用)	志願者		高等学校長	出願時に提出
	県内特別措置及び 県外からの出願承認	13 25	L	59	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
の受験 配慮上	受験上の特別配慮	37	P	61	受験上の配慮申請書	中学校長		高等学校長	12月以降のできるだけ 早い時期
	"	37	Q	62	受験上の配慮通知	高等学校長		中学校長	受理・審査後
その他報告様式	出願者数報告	9	E-1		第一次募集出願者数の報告	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	"	19	E'-1		連携型選抜出願者数の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	"	17	E-2		第二次募集出願者数の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	合格者数報告	12	I		第一次募集合格者数報告	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	3月14日(木)正午	
	"	20	I'		連携型選抜合格者数報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	3月14日(木)正午	
	出願承認報告	13,25 27,29	M		宮城県公立高等学校出願承認報告書	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	3月4日(月)	
	第二次募集予定報告	14	N		第二次募集実施予定報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	12月16日(金)出願締切後直ちに 2月14日(木)正午	
	第二次募集結果報告	17	O		第二次募集結果の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	合格発表後直ちに	
採点日調査		R		入試採点日調査	高等学校長	県教育長 高校教育課長	後日通知する		
検査室数調査		S		検査室数報告書	高等学校長	県教育長 高校教育課長	2月16日(金) 午後4時		

市立高等学校にあっては所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

要項に掲載されていない様式については後日通知する。

凡 例

様式の中で使う略称とその意味については以下のとおりである。

県外	県外からの出願を承認された者が出願することをいう。
全国	全国募集選抜に出願することをいう。
海外	海外帰国者等が出願することをいう。
過卒	過年度卒業生が出願することをいう。
県境	県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定により出願することをいう。
特支	特別支援学級在籍者が出願することをいう。
社会人	社会人特別選抜に出願することをいう。
連携	連携型選抜に出願することをいう。
区域外	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置により出願することをいう。

様式記入の一般的注意

- 1 各学校・学科・コースにおいて記入の必要のない欄には斜線又は*を付す。
- 2 各学校・学科・コースにおいて該当する者がいない場合、その欄には「0」と記入する。
- 3 貞山高等学校については、コースの欄に昼間部・夜間部の別を記入する。
- 4 東松島高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部・Ⅲ部の別を記入する。
- 5 田尻さくら高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。
- 6 仙台大志高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。

様式 A

メール施行 (様式A) 出願希望調査集計表

令和 6 年 1 月 日

宮城県教育庁高校教育課長 殿

中学校長

※ の箇所に入力すること

※すべての入力完了後に「入力チェック」ボタンを押し、

エラーが出た場合は修正し、再度ボタンを押しこと

入力チェック

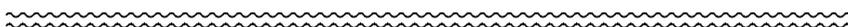
<チェック結果>

中学校番号入力	
日付・中学校名・担当者職氏名	
在籍生徒数・過年度卒業生数	
合計数と在籍数+過卒数一致	
過卒合計数と過卒数一致	

	計
在籍生徒数	
過年度卒業生数	

※該当者がいない場合は、0(ゼロ)を入力

学校名	学科・コース	令和6年度 募集定員	志願者数	左記志願者数のうち	
				県境	過卒
1 白石	普通科	240			
	看護科	40			
2 蔵王	普通科	80			
	機械科	80			
3 白石工	電気科	40			
	工業化学科	40			
	建築科	40			
	設備工業科	40			



12 仙台工※	建築土木科 / 夜	40			
	機械システム科 / 夜	40			
定 時 制 合 計		960	0	0	0
通信制 (美田園)					
特別支援学校高等部					
国立高等専門学校					
私立高校 (専願・推薦を含む)					
中等教育学校					
各種学校等					
就職及び家業 (家事)					
【 県 外 】	進学 (就職進学を含む)				
	就職				
合計			0	0	0

- <注> 1 在籍生徒数には特別支援学級在籍生徒数を含めた第3学年生徒全員の数を入力すること。
- 2 第3学年生徒全員と県内進学を希望する過年度卒業生を対象に第1希望で集計のこと。
したがって、例えば私立高等学校を併願する公立高等学校志願者であっても、私立高等学校を第1希望とするものについては、「私立高校」の欄に入力すること。
- 3 「中学校番号」は、県教育庁高校教育課から別途送付する中学校番号表を参照すること。
- 4 「各種学校等」とは、専修学校、各種学校及び文部科学省以外が所管する学校（職業訓練校など）をいう。
- 5 「合計」は「在籍生徒数」と「過年度卒業生数」を加えた数となる。
なお、社会人など中学校が把握できない者は「過年度卒業生」に含めなくともよい。

様式B (調査書) は、69頁参照のこと。

様式 C

(/ 中)				
第一次募集 連携型選抜 全国募集選抜 第二次募集	出 願 者 一 覧 表			
令和 年 月 日 ○○中学校長 氏 名 印				
志願高等学校名	高等学校 (校)	課程別	全日制・定時制	
出 願 者 数	名			
受 付 番 号*	志 望 学 科 名 (コース)	氏 名	満 年 齢 (4月1日現在)	備 考

- <注> 1 第一次募集・連携型選抜・全国募集選抜・第二次募集のいずれかを で囲むこと。
- 2 全日制・定時制のいずれかを で囲むこと。
- 3 全日制・定時制別、本校・分校別及び学科・コース別に作成し、枠外右上端「(/ 中)」には、各高等学校に提出する全ての用紙の枚数を分母にして、例えば、全3頁中の1頁目の場合は「(1/3中)」、2頁目の場合は「(2/3中)」のように示すこと。
- 4 受付番号欄には、記入しないこと。
- 5 志望学科名(第2志望学科がある場合でも、第1志望学科名のみを記載すること。)は、普通科、農業科、電気科等と記入すること。
- 6 満年齢は令和6年4月1日現在で記入すること。
- 7 第一次募集、連携型選抜、全国募集選抜及び第二次募集の出願の際、それぞれ提出すること。
- 8 備考欄については、下表により略記で記入すること。また、第二次募集にあつては、14頁の「3 出願資格」を参照し、(1)～(5)のうち該当する番号を記入すること。

出 願 等 の 種 類	略 記
県外からの出願	県 外
海外帰国者等の出願	海 外
過年度卒業生の出願	過 卒
県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定に基づく出願	県 境
特別支援学級在籍者の出願	特 支
東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願	区域外

様式 D (社会人特別選抜のみ)

			令和	年	月	日
社会人特別選抜		出願書類受領書				
(所属長) 殿						
			〇〇高等学校長	氏	名	印
下記の書類を受領しました。						
1	入学願書及び写真票	…	通			
2	社会人特別選抜推薦書	…	通			
3	調査書	…	通			
4	受験票等送付用封筒	…	枚			
5	結果通知用封筒	…	枚			

- <注> 1 社会人特別選抜においてのみ作成すること。
2 受領した書類の内訳については、提出書類に即して記載すること。

様式 F (社会人特別選抜のみ)

受験票送付一覧				
令和 年 月 日				
所属長 殿				
〇〇高等学校長 氏 名 印				
No.	学科 (コース)	受験番号	氏 名	備 考

<注> 社会人特別選抜の場合に、所属長等に送付し、中学校長には写しを送付する。

様式 G (第一次募集、連携型選抜、全国募集選抜、第二次募集、社会人特別選抜)

第一次募集
 連携型選抜
 全国募集選抜 結果通知書
 第二次募集
 社会人特別選抜

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿
 (所属長 殿)

〇〇高等学校長 氏 名 印

通し 番号	志望学科 (コース・部)	受験 番号	氏 名	志望学科の合否		第2志望 合格学科 (コース・部)
				合	否	
1						
2						

- <注> 1 志望学科 (コース・部) とは、第1志望学科 (コース・部) をさす。
 2 社会人特別選抜の場合は、所属長等に送付し、中学校長には写しを送付する。
 3 欠席者 (受験を辞退した者を含む。) については一切記載しないこと。

合 格 通 知 書

受 験 番 号 _____

氏 名

あなたは、令和 年度入学者選抜の結果、本校 課程 科
(コース) に合格しましたので通知します。

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 氏 名 印

社会人特別選抜 推薦書

令和 年 月 日

〇〇 高等学校長 殿

〇〇株式会社

代表取締役社長 氏 名 印

令和6年3月末で本社勤務満〇年〇月となる見込みの社員〇〇〇〇〇は、下記の「推薦理由」により、貴校 科（ 部）への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

推 薦 理 由

<注> 推薦理由は、21頁の「2 出願資格」(2)を参照すること。

様式 K-1 (県内の特例措置による出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特例措置による出願者用) (特例)				
令和 年 月 日				
〇〇高等学校長 殿				
本人氏名 (本人署名又は記名押印)				
保護者氏名 (本人署名又は記名押印)				
下記のとおり、一家転住により出願先の変更を希望するので、承認くださるよう、お願いします。				
記				
本人	現住所	〒 ()		
	在学(出身)中学校	電話番号 () -		
	卒業見込(卒業)の年月	昭和 平成 令和	年 月	卒業見込・卒業
	氏名			
	生年月日	昭和 平成	年 月 日	年齢 歳
保護者	現住所	〒 ()		
	氏名	電話番号 () -		
転居先住所				
変更後の出願先				
理由	----- ----- ----- -----			
学校所在地		〇〇中学校長 氏名 印		
上記のとおり相違ないことを証明します。				

- <注> 1 理由は具体的に記入すること。
 2 返信用封筒 (長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記) を同封すること。

様式 K-2 (県外からの出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用) ()

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 殿

本人氏名

(本人署名又は記名押印)

保護者氏名

(本人署名又は記名押印)

下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。

記

本 人	現住所	〒 ()		
	在学(出身)中学校	電話番号 () -		
	卒業見込(卒業)の 年月	昭和 平成 令和	年 月	卒業見込・卒業
	氏名			
	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	年齢 歳
保 護 者	現住所	〒 ()		
	氏名	電話番号 () -		
転居先住所				
理 由	----- ----- ----- -----			
学校所在地		〇〇中学校長 氏名 印		
上記のとおり相違ないこと及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明 します。				

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の () に**特例**と記入すること。
 2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の () に**全国**と記入すること。
 3 理由は具体的に記入すること。
 4 返信用封筒(長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記)を同封すること。
 5 転居先住所については、「〇〇市に居住予定」等でも可とする。

身元引受人報告書

令和____年____月____日

宮城県_____高等学校長 殿

宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、_____殿
が志願者の身元引受人となります。

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

保護者住所 _____

※身元引受人を自治体に依頼する場合は、身元引受人氏名欄及び以下は空欄のまま提出すること

身元引受承諾書

志願者が、宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、志願者の
身元引受人となることを承諾します。

令和____年____月____日

身元引受人氏名 _____ 印

身元引受人住所 _____

		割印	
		〇〇高等学校指令第	号
宮城県公立高等学校出願承認書 ()			
令和 年 月 日付けで申請のあった下記の者の出願について、承認します。			
記			
1	氏名		
2	生年月日		
3	在学(出身)中学校		
4	志願高等学校名		
5	理由		
6	転居先住所		
	令和 年 月 日	〇〇高等学校長	氏名 印

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の()に**特例**と記入すること。
2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の()に**全国**と記入すること。
3 理由は、簡潔に記入すること。

受験番号	※
------	---

志 願 理 由 書 (全国募集選抜用)

中学校名 _____ 立 _____ 中学校
年 _____ 月 _____ 卒業見込 / 卒業

ふりがな
志願者氏名 _____

志願先高等学校名	高等学校	学科	科
1 志望する理由を書きなさい。			

2 高校入学後の抱負を書きなさい。			

3 高校を卒業後、どのような進路に進み、どのような社会人になりたいのかを書きなさい。			

1 ※以外は、志願者本人が直筆で記入すること。
2 黒のボールペンを用いて記入すること。（「消えるボールペン」は使用しないこと。）
3 誤記を訂正する場合は、二重線で消して訂正すること。

受験上の配慮申請書

〇〇高等学校長 殿

令和 年 月 日

〇〇中学校長 氏 名 印

下記のとおり、学力検査・面接等の受験上の配慮をお願いします。

記

氏 名		性別	男・女	生年月日	昭和 平成 年 月 日生
志望学科等	課程 科 (コース)		受験番号	※	
在学(出身) 中学校		卒業見込 (卒業)の年月	昭和 平成 令和	年 月	卒業見込 卒業
配慮の内容	海外帰国者等 身体上のこと等 () その他 ()				
配慮の 希望 事項	施設面				
	検査方法				
	その他				
配慮が必要な理由					

- <注> 1 「受験番号」の欄については、記入しないこと。
 2 「配慮の内容」の欄については、該当する項目を で囲み、() 内には、その具体的な内容を記入すること。
 3 配慮の希望事項の記入について
 (1) 施設面については、検査会場における検査室、座席等の希望を記入すること。
 (2) 検査方法については、拡大文字での検査、英語の放送による検査における直接検査、検査時間の延長等の希望を記入すること。
 (3) その他については、特別な器具の持込や薬の服用など、上記(1)、(2)以外の配慮を希望する場合に記入すること。
 (4) 「配慮の希望事項」の欄は、受験上の配慮に関する記入欄であり、選抜に関する配慮等については、記入しないこと。
 4 中学校長は、配慮申請の妥当性を示す資料（診断書、中学校での生活の様子や配慮した内容等を記載した副申書など）を添付して、志願高等学校長に提出すること。

様式 Q

受験上の配慮通知

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿

〇〇高等学校長 氏 名 印

令和 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

志願者氏名		受験番号	
志望学科 (コース)			
配慮事項について			

追 試 験 申 請 書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

_____ 中学校

校長 _____ 印

第一次募集を欠席した下記の者について、追試験の受験を申請します。

記

受験番号	受験者氏名
欠席した 検査	1 学力検査 2 面接・実技・作文 (該当するものに○を付けてください)
事 由	イ インフルエンザ等の感染症などへの罹患又はその症状 ロ その他やむを得ない事由 (該当するものに○を付けてください)
	具体的事由

※ 事由イの場合、診断書等を添付すること。

※ 事由ロの場合、中学校長が欠席の事由を具体的に記載すること。

追 試 験 受 験 許 可 証

令和 年 月 日

_____ 中学校長 殿

_____ 高等学校長 印

令和 年 月 日付けで申請のありました追試験については、下記のとおり受験を許可します。

記

受験番号		受験者氏名	
実施する検査 及び日時	1	学力検査	3月8日
	2	面接・実技・作文	学力検査終了後
			月 日 時 分集合

※学力検査の日程は、受験票の裏面を参照のこと。

※○が付いている項目が対象となります。

【注】追試験当日は、受験票と追試験受験許可証の写しを受付で提示してください。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※
全・定	(科 コース部)	氏名	
在学(出身) 中学校	中学校		

写真欄

- ・上半身正面、無帽
- ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・縦4cm、横3cm
- ・カラー・白黒を問いません。
- ・写真の裏に氏名と中学校校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

県外からの出願者、全国募集選抜の出願者、海外帰国者等の出願者、過年度卒業生の出願者、岩手・福島との県境隣接協定に基づく出願者、特別支援学級からの出願者、社会人特別選抜の出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の○の中に、それぞれ県外、全国、海外、過卒、県境、特支、社会人及び区域外と朱書する。

受験番号 ※

入学者選抜手数料	<p>県立高等学校出願者は宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと)。 仙台市立高等学校出願者は納入通知書兼領収書を願書裏面に貼付すること。 石巻市立高等学校出願者は納入通知書兼領収証書を願書裏面に貼付すること。</p>
----------	--

入学願書

高等学校長殿 令和6年 月 日
(校)

本人氏名
(本人署名又は記名押印)

(昭和 年 月 日生)
(平成

保護者(又は保証人)氏名
(本人署名又は記名押印)

貴校(全日制・定時制)課程()科()コース)に
入学を志願いたします。

本人	現住所	〒()
	在学(出身) 中学校	昭和 年 月 卒業見込・卒業 平成 年 月 卒業見込・卒業 令和 年 月 卒業見込・卒業 電話番号(県外の場合のみ記入) ()
保護者 (又は保証人)	現住所	〒() 電話番号 ()
第2志望	科	コース部

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 受験票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※	氏名
全・定	(科 コース部)			
在学(出身) 中学校	中学校	生年月日	昭和 年 月 日生 平成	
出願校名及び 受験場所	※ 高等学校			

(※の欄は記入しないこと。)

記入上の注意

- 1 入学願書は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
ただし、本人が18歳以上の場合は保護者(保証人)の記入は不要であるが、その場合であっても**本人の電話番号を保護者の電話番号欄に記入すること。**
- 2 分校に出願する者は、分校名を分校名欄に〇〇校と記入すること。

仙台市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収証書を、上下のミシン目の間に貼付すること。

- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
- 4 氏名については、住民票どおりに記載すること。
- 5 生年月日については、「昭和・平成」のどちらかを○で囲むこと。
- 6 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
- 7 志望課程については、全日制・定時制のどちらかを、で囲むこと。
- 8 「()科()」のところは、出願する学科、コース・部名を記入すること。ただし、出願する学校に二つ以上の小学科が置かれている場合、例えば、工業に関する学科における機械科、電気科等のような場合には、その小学科名を記入すること。一括募集を実施する学科については、「農業・園芸」のように記入すること。記入しない場合は斜線(左上から右下)を引くこと。
(例) 「()科()」
- 9 在学(出身)中学校欄の「昭和・平成・令和」及び「卒業見込・卒業」については、それぞれどちらかを で囲むこと。
なお、中等教育学校前期課程においては「修了見込・修了」を「卒業見込・卒業」として扱うこと。
- 10 第2志望欄には、志望する学科、コース・部名を記入すること。ただし、第2志望とすることを認める学科・コース・部を志望する場合に限る。記入しない場合は、斜線(左上から右下)を引くこと。

(例)

第2志望	科	コース 部
------	---	----------

- 11 県立高等学校出願者にあつては、宮城県収入証紙(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと)。
市立高等学校出願者にあつては、それぞれの市条例で定める額の手数料(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を金融機関に納入し、仙台市立高等学校出願者にあつては**納入通知書兼領収書**を、石巻市立高等学校出願者にあつては**納入通知書兼領収証書**を、**願書裏面に貼付すること。**
- ◎ 第一次募集出願受付期間は**2月13日(火)**から**2月16日(金)**までとする。
受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**2月16日(金)**は午前11時までとする(郵送する場合であっても、**2月16日(金)午前11時までに必着のこと。**)。

・ 検査期日 令和6年3月5日(火) ・ 集合時刻 午前8時30分
・ 学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- ・ 当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・ 学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。
その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学 科 名	受験番号	※
全	科	氏 名	
在 学 中 学 校	中 学 校		

- 写真欄
- ・上半身正面、無帽
 - ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
 - ・縦4cm、横3cm
 - ・カラー・白黒を問いません。
 - ・写真の裏に氏名と中学校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

海外帰国者等の出願者、特別支援学級からの出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の○の中に、それぞれ海外、特支及び区域外と朱書する。

受験番号	※
------	---

入学者選抜手数料	宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと。)
----------	------------------------------

入 学 願 書 (連 携 型 選 抜)

令和 6 年 月 日

宮 城 県 南 三 陸 高 等 学 校 長 殿

ふ り が な
本 人 氏 名
(本人署名又は記名押印)

(平成 年 月 日生)

ふ り が な
保 護 者 (又 は 保 証 人) 氏 名
(本人署名又は記名押印)

貴校全日制課程 () 科に入学を志願いたします。

本 人	現 住 所	〒 ()
	在 学 中 学 校	令和 6 年 月 卒業見込
保 護 者 (又 は 保 証 人)	現 住 所	〒 () 電話番号 () —

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 連携型選抜受験票

全定の別	学 科 名	受験番号	※	氏 名
全	科			
在 学 中 学 校	中 学 校	生 年 月 日	平 成 年 月 日 生	
出 願 校 名 及 び 受 験 場 所	宮 城 県 南 三 陸 高 等 学 校			

(※の欄は記入しないこと。)

令6連

記入上の注意

- 1 入学願書(連携型選抜)は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
 - 2 氏名については、住民票どおりに記載すること。
-
- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
 - 4 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
 - 5 「()科」のところは、出願する学科名を記入すること。
 - 6 宮城県収入証紙(全日制課程2,200円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと。)
- ◎ 出願受付期間は2月13日(火)から2月16日(金)までとする。
- 受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月16日(金)午前11時までに必着のこと。)

-
- ・ 検査期日 令和6年3月5日(火) ・ 集合時刻 午前8時30分
・ 学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- ・ 当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・ 学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。
その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

調査書作成上の留意事項

中学校長は、正確公正を期して調査書を作成するため、校内に調査書等作成委員会を設置すること。

調査書の作成に当たっては、所定の生徒指導要録等に基づいて、生徒に関する客観的な資料となるよう十分留意すること。

※ 令和6年度の入学者選抜においては、文部科学省「今後の高等学校入学者選抜等における新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた配慮等について（5文科初第594号令和5年6月16日）」に基づき、対応するものとする。

I 記入上の全般的注意

- 1 調査書の作成に当たっては、宮城県教育庁高校教育課のホームページに掲載されている様式又はソフトウェア等で自作した様式を用いる。また、手書きの場合は、黒のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。
- 2 令和6年3月卒業見込みの者の調査書には、令和6年1月31日までの事項を記入する。
なお、調査書の発行日は、令和6年2月1日以降（2月1日を含む）の日付とすること。
- 3 数字は、すべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正テープ等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。
- 5 ※No. の欄は記入しない。
- 6 卒業年月欄の右隣の欄については、「卒業見込」、「卒業」のいずれか一方を記入する。中等教育学校前期課程においては「修了見込」、「修了」のいずれか一方を記入する。
- 7 調査書等作成委員会の欄には、記載責任者の認印を押す。
- 8 作成した調査書は、必ず印刷をした上で生徒指導要録等の原本と相違ないかを複数の担当者で照合、確認すること。

II 各欄記入上の注意

- 1 「各教科の学習の記録」の欄について
1年から3年までの評定を生徒指導要録等に基づき**5段階**で記入する。
※の縦の欄は記入しない。
- 2 「総合的な学習の時間の記録」の欄について
学習活動及び学習評価の観点の中で顕著な事項や成長の様子を生徒指導要録等に基づき総合的に記入する。
- 3 「行動の記録」の欄について
第3学年について記入する。各項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる状況であると判断される場合」に、○印を記入する。
- 4 「特別活動等の記録」の欄について
特別活動等における生徒の活動状況について、該当する事項を適宜番号で示し、事実及び

所見を記入する。

- 5 「スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動等の記録」の欄について
上記各分野のいずれかにおいて、次の(1)～(4)に該当する場合は、その内容を具体的に記述する。該当しない場合には斜線を引くこと。

(1) スポーツ活動

校内外の活動において、特に優れた体育的能力を有する者（これまでの中学校体育連盟等の運動競技会において、県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

(2) 文化活動

校内外の活動において、特に優れた文化的能力を有する者（これまでの芸術作品展示会や発表会等の文化的活動において、県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

(3) 社会活動

中学校の特別活動などにおいて、継続的に活躍するなど、特に優れたリーダー性を有する者

(4) ボランティア活動

校内外において1年以上の長期間にわたり奉仕的活動に携わり、その活動が特に顕著であると認められる者

- 6 「欠席の状況」の欄について

事由の欄には、各学年において欠席日数が7日以上の場合は主な理由等を記入する。

- 7 「特記事項」の欄について

この欄には、次の項目で特記すべきことがあれば、該当する事項を番号で示し、生徒指導要録等に基づき記入する。

(1) 就学中の転・編入学に関すること

(2) 各教科の学習状況に関すること

(3) 行動の記録に関すること

(4) 健康状態に関すること

(5) 進路に関すること

(6) その他

- 8 県外からの出願者、全国募集選抜の出願者、海外帰国者等の出願者、過年度卒業生の出願者、岩手・福島の県境隣接協定に基づく出願者、特別支援学級からの出願者、社会人特別選抜の出願者、連携型選抜出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右上の□の中に、それぞれ**県外、全国、海外、過卒、県境、特支、社会人、連携及び区域外**と朱書する。例えば、県外からの過年度卒業生が出願する場合は、**県外・過卒**と朱書する。

Ⅲ その他

- 1 記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。
2 平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」に相当する内容のみ記入する。ただし、**記入しない欄は斜線を引くこと。**

なお、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

I 県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱い協定

(I) 宮城県と岩手県との協定

宮城県教育委員会と岩手県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成16年1月1日より施行し、平成16年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と岩手県の県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱い協定（平成13年12月28日締結）は、廃止する。

平成15年12月22日

宮 城 県 教 育 委 員 会
岩 手 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
栗原市（平成17年3月31日における旧栗駒町，旧金成町，旧若柳町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
登米市（平成17年3月31日における旧石越町，旧中田町，旧東和町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
気仙沼市	千厩高等学校（普通科を除く） 高田高等学校 大船渡東高等学校

岩手県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
一関市（平成17年9月19日における一関市，西磐井郡花泉町の区域に限る。）	岩ヶ崎高等学校 迫桜高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校
一関市（平成17年9月19日における東磐井郡室根村および平成23年9月25日における東磐井郡藤沢町の区域に限る。）	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校 気仙沼向洋高等学校
大船渡市 陸前高田市	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 気仙沼向洋高等学校

(Ⅱ) 宮城県と福島県との協定

宮城県教育委員会と福島県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成13年1月1日より施行し、平成13年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と福島県の県境隣接地域公立高等学校入学志願取扱協定（昭和52年10月11日締結）は、廃止する。

平成12年12月18日

宮 城 県 教 育 委 員 会
福 島 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
白石市	伊達高等学校
伊具郡丸森町	伊達高等学校 相馬高等学校 相馬総合高等学校
亶理郡山元町	相馬高等学校 相馬総合高等学校

福島県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
伊達郡国見町 〃 桑折町 伊達市梁川町 (平成17年12月31日現在の旧伊達郡梁川町の区域に限る)	白石高等学校 白石工業高等学校 伊具高等学校
相馬郡新地町 相馬市	伊具高等学校 亶理高等学校

Ⅱ 宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有する者が山形県の公立高等学校へ志願する場合

宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有し、通学の便が悪いため本県の公立高等学校へ志願できない者は、山形県の最寄りの特定の高等学校（上山明新館高等学校、高畠高等学校）へ志願することができる。

県立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(昭和31年12月28日宮城県教育委員会規則第17号)
最終改正 平成29年3月教育委員会規則第11号

(趣旨)

第一条 県立高等学校(以下「高等学校」という。)の通学区域については、この規則の定めるところによる。

(通学区域)

第二条 高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県に住所を有する者の取扱い)

第三条 他の都道府県に住所を有する者が宮城県の高齢学校に就学しようとするときは、別に定める場合を除き、宮城県教育委員会の承認を得なければならない。

2 前項の規定により承認を得ようとする者は、次の各号に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校(義務教育学校を含む。以下同じ。)又はその者の在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる理由を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業若しくは前期課程の修了の年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 高等学校への就学を必要とする理由

附 則

この規則は、平成29年3月31日から施行する。

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成12年3月23日仙台市教育委員会規則第4号)
改正 平成29年2月23日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市立高等学校(以下「市立高校」という。)の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第二条 市立高校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの就学)

第三条 他の都道府県に住所を有する者がやむを得ない理由により市立高校に就学しようとするときは、当該市立高校の校長の承認を得なければならない。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校(義務教育学校を含む。以下同じ。)又はその者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる事項を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 市立高校への就学を必要とする理由

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成17年4月1日石巻市教育委員会規則第15号)
最終改正 平成29年3月29日教育委員会規則第3号

(趣旨)

第1条 この規則は、石巻市立高等学校の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第2条 石巻市立高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの通学)

第3条 他の都道府県に住所を有する者でやむを得ない理由により石巻市立高等学校への就学を希望する者は、教育委員会の承認を得て、石巻市立高等学校に通学することができる。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、当該者の在学する若しくは卒業した中学校(義務教育学校を含む。以下同じ。)又は当該者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、石巻市立高等学校への就学を必要とする理由を証明する書類を添付して提出しなければならない。

(1) 現住所、氏名及び生年月日

(2) 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月、又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

(3) 保護者の現住所及び氏名

(4) 石巻市立高等学校への就学を必要とする理由

(補則)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜における 東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会
石巻市教育委員会

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜において、東日本大震災の被災により区域外就学している生徒が本県内の公立高等学校への入学を希望する場合には、令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項の居住区域の定めに関わらず、受験に係る措置として、次のように扱うものとする。

1 出願資格及び出願手続

(1) 出願資格

次のイの①及び②並びにロの①及び②のいずれかに該当し、本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項の「I 募集及び出願」の「3 出願制限」に関わらず、本県内の公立高等学校の入学者選抜（ただし、連携型選抜及び社会人特別選抜を除く。）に出願できるものとする。

ただし、いずれにおいても、本県内の公立高等学校に入学後、本人及び保護者が本県内に居住する場合とする。

イ 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者

ロ 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者

(2) 出願手続

当該措置により出願する者は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める出願書類に加えて、宮城県公立高等学校出願承認願（東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用）（様式K-3）を、現在在籍している中学校長を経て高等学校長に提出する。

この場合、高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の交付を省略する。

2 出願書類作成上の注意

(1) 入学願書及び写真票

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(2) 調査書（様式B）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(3) 出願者一覧表（様式C）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、備考欄に**区域外**と朱書するものとする。

3 被災に伴う転学者の取扱い

- (1) 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、本県内から県外に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める「Ⅶ 県外からの出願」（24頁）に基づき出願すること。

- (2) 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、県外から本県内に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める通常の出願手続きに基づき出願すること。

様式 K-3 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)				
令和 年 月 日				
〇〇高等学校長 殿		本人氏名 (本人署名又は記名押印)		
		保護者氏名 (本人署名又は記名押印)		
下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。				
記				
本人	現住所(避難先の住所)	〒 ()		
	住民票の住所			
	在学中学校	中学校 令和 年 月 卒業見込		
	氏 名			
	生 年 月 日	平成 年 月 日生	年齢	歳
保護者	現住所(避難先の住所)	〒 () 電話番号 () -		
	氏 名	続柄 ()		
	入学後の住所(予定)	〒 ()		
平成23年3月11日現在の住所(避難前の住所)		〒 ()		
理由	----- ----- -----			
学校所在地		〇〇中学校長		※
		氏 名		印
		電話番号 () -		
上記のとおり相違ないこと、及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明します。				

- <注> 1 志願者本人又は保護者が理由の欄まで記入すること。理由は具体的に記入すること。
2 中学校長は記載内容を確認の上、※の欄を作成すること。

宮城県公立高等学校出願書類送付先一覧

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県白石高等学校	989-0247	白石市八幡町9-10	0224(25)3154
宮城県白石高等学校 七ヶ宿校			
宮城県蔵王高等学校	989-0851	刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7	0224(33)2005
宮城県白石工業高等学校	989-0203	白石市郡山字鹿野43	0224(25)3240
宮城県村田高等学校	989-1305	柴田郡村田町大字村田字金谷1	0224(83)2275
宮城県大河原産業高等学校	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7-2 ※2	0224(51)9180
宮城県柴田農林高等学校 川崎校	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7-2 (柴田農林高等学校内) ※2	0224(53)1049
宮城県柴田高等学校	989-1621	柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入7-3	0224(56)3801
宮城県角田高等学校	981-1505	角田市角田字牛館1番地	0224(63)3001
宮城県伊具高等学校	981-2153	伊具郡丸森町字雁歌51	0224(72)2020
宮城県名取高等学校 ※1	989-2474	岩沼市字朝日50	0223(22)3151
宮城県名取北高等学校	981-1224	名取市増田字柳田103番地	022(382)1261
宮城県亶理高等学校	989-2361	亶理郡亶理町字館南56の2	0223(34)1213
宮城県農業高等学校	981-1242	名取市高館吉田字吉合66番地	022(384)2511
宮城県仙台第一高等学校	984-8561	仙台市若林区元茶畑4番地	022(257)4501
宮城県仙台二華高等学校	984-0052	仙台市若林区連坊一丁目4番1号	022(296)8101
宮城県仙台三桜高等学校	982-0845	仙台市太白区門前町9番2号	022(248)0158
宮城県仙台向山高等学校	982-0832	仙台市太白区八木山緑町1番1号	022(262)4130
宮城県仙台南高等学校	982-0844	仙台市太白区根岸町14番1号	022(246)0131
宮城県仙台西高等学校	982-0806	仙台市太白区御堂平5番1号	022(244)6151
宮城県仙台東高等学校	984-0832	仙台市若林区下飯田字高野東70番地	022(289)4140
宮城県工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2番1号	022(221)5656
仙台市立仙台工業高等学校 ※1	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3番1号	022(237)5341
宮城県仙台第二高等学校	980-8631	仙台市青葉区川内澗橋通1番地	022(221)5626
宮城県仙台第三高等学校	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷一丁目19番	022(251)1246
宮城県宮城第一高等学校	980-0871	仙台市青葉区八幡一丁目6番2号	022(227)3211
宮城県宮城広瀬高等学校	989-3126	仙台市青葉区落合四丁目4番1号	022(392)5512
宮城県泉高等学校	981-3132	仙台市泉区将監十丁目39番1号	022(372)4111
宮城県泉松陵高等学校	981-3109	仙台市泉区鶴が丘四丁目26-1	022(373)4125
宮城県泉館山高等学校	981-3211	仙台市泉区長命ヶ丘東1番地	022(378)0975
宮城県宮城野高等学校	983-0021	仙台市宮城野区田子二丁目36番1号	022(254)7211
仙台市立仙台高等学校	981-8502	仙台市青葉区国見6丁目52-1	022(271)4471
仙台市立仙台商業高等学校	981-3131	仙台市泉区七北田字古内75	022(218)3141
宮城県塩釜高等学校	985-0056	塩竈市泉ヶ岡10番1号	022(362)1011
宮城県多賀城高等学校	985-0831	多賀城市笠神二丁目17番1号	022(366)1225
宮城県松島高等学校	981-0215	宮城郡松島町高城字迎山3-5	022(354)3307
宮城県利府高等学校	981-0133	宮城郡利府町青葉台一丁目1番地の1	022(356)3111
宮城県黒川高等学校	981-3685	黒川郡大和町吉岡字東柴崎62	022(345)2171
宮城県富谷高等学校	981-3341	富谷市成田二丁目1-1	022(351)5111

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県古川高等学校	989-6155	大崎市古川南町二丁目3番17号	0229(22)3034
宮城県古川黎明高等学校	989-6175	大崎市古川諏訪一丁目4番26号	0229(22)3148
宮城県岩出山高等学校	989-6437	大崎市岩出山字城山2番地	0229(72)1110
宮城県中新田高等学校	981-4294	加美郡加美町字一本柳南28	0229(63)3022
宮城県松山高等学校	987-1304	大崎市松山千石字松山1番地の1	0229(55)2313
宮城県加美農業高等学校	981-4111	加美郡色麻町黒沢字北條152	0229(65)3900
宮城県古川工業高等学校 ※1	989-6171	大崎市古川北町四丁目7番1号	0229(22)3166
宮城県鹿島台商業高等学校	989-4104	大崎市鹿島台広長字壱師前44	0229(56)2664
宮城県涌谷高等学校	987-0121	遠田郡涌谷町涌谷字八方谷三・1	0229(42)3331
宮城県小牛田農林高等学校	987-0004	遠田郡美里町牛飼字伊勢堂裏30	0229(32)3125
宮城県南郷高等学校	989-4204	遠田郡美里町大柳字天神原7番地	0229(58)1122
宮城県佐沼高等学校 ※1	987-0511	登米市迫町佐沼字末広1	0220(22)2022
宮城県登米高等学校	987-0702	登米市登米町寺池桜小路3番地	0220(52)2670
宮城県登米総合産業高等学校	987-0602	登米市中田町上沼字北桜場223-1	0220(34)4666
宮城県築館高等学校	987-2203	栗原市築館字下宮野町浦22番地	0228(22)3126
宮城県岩ヶ崎高等学校	989-5351	栗原市栗駒中野愛宕下1番地3	0228(45)2266
宮城県迫桜高等学校	989-5502	栗原市若柳字川南戸ノ西184番地	0228(35)1818
宮城県一迫商業高等学校	987-2308	栗原市一迫真坂字町東133番地	0228(52)4112
宮城県石巻高等学校	986-0838	石巻市大手町3番15号	0225(93)8022
宮城県石巻好文館高等学校	986-0851	石巻市貞山三丁目4番1号	0225(22)9161
宮城県石巻西高等学校	981-0501	東松島市赤井字七反谷地27番地	0225(83)3311
宮城県石巻北高等学校	986-1111	石巻市鹿又字用水向126	0225(74)2211
宮城県石巻北高等学校 飯野川校			
宮城県水産高等学校	986-2113	石巻市宇田川町1番24号	0225(24)0404
宮城県石巻工業高等学校	986-0851	石巻市貞山五丁目1番1号	0225(22)6338
宮城県石巻商業高等学校	986-0031	石巻市南境字大樋20番地	0225(22)9188
石巻市立桜坂高等学校	986-0833	石巻市日和が丘二丁目11番8号	0225(22)4421
宮城県気仙沼高等学校 ※1	988-0051	気仙沼市常楽130番地	0226(24)3400
宮城県南三陸高等学校	986-0775	本吉郡南三陸町志津川字廻館92番地2	0226(46)3643
宮城県本吉響高等学校	988-0341	気仙沼市本吉町津谷桜子2番地24	0226(42)2627
宮城県気仙沼向洋高等学校	988-0235	気仙沼市長磯牧通78番地	0226(27)2311
宮城県第二工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1	022(221)5659
宮城県貞山高等学校	985-0841	多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番2号	022(362)5331
宮城県田尻さくら高等学校	989-4308	大崎市田尻沼部字中新堀137番地	0229(39)1051
宮城県東松島高等学校	981-0503	東松島市矢本字上河戸16	0225(82)9211
仙台市立仙台大志高等学校	983-0842	仙台市宮城野区五輪1丁目4番10号	022(257)0986
宮城県美田園高等学校	981-1217	名取市美田園二丁目1番地の4	022(784)3572

※1 定時制課程を併置している高等学校

※2 宮城県大河原産業高等学校と宮城県柴田農林高等学校 川崎校の出願先住所は同一であるが、出願書類については、出願先高等学校ごと、別々に送付すること

Fly high～輝く未来へ飛び出そう！！～

文化祭テーマは、小牛田高等学園２年生山下倫由さんの作品です。

【日時】 令和５年１１月６日（月）～１１月１０日（金）

午前９時から午後５時まで

【場所】 県庁１階 県民ロビー、玄関ホール

【内容】 ・学校紹介パネル展示〔２４校〕
・作業製品販売〔１１校〕
・ステージ発表〔 ７校〕

※期間中にまちくるビジョン（仙台市一番町商店街に設置してある大型ビジョン）
で県内特別支援学校紹介を上映する予定です。

〈学校紹介パネル展示〉

県内全ての特別支援学校のパネルがずらり勢揃い！ 各校の特徴が一目で分かります。

〈作業製品販売〉

各学校で作った工芸製品、木工製品、野菜など、生徒が一つ一つ丁寧に作った製品が販売されます。人気製品は売り切れ必至！ 御購入はお早めどうぞ。

〈ステージ発表〉

和太鼓演奏、よさこい演舞、虎舞、フラダンス、学校（部活動）紹介、ハンドベルなど見どころ満載！どうぞ御覧ください！

時間帯等 開催日等	学校紹介パネル	9:00～17:00	※ステージ発表時は除く
	販売（午前） 10:00～12:00	ステージ発表 12:00～13:00	販売（午後） 13:00～15:00
11月 6日（月）	女川高等学園 いずみ高等支援学校	いずみ高等支援学校 女川高等学園	販売はありません
11月 7日（火）	小牛田高等学園 宮教大附属特別支援学校	視覚支援学校 小牛田高等学園	販売はありません
11月 8日（水）	仙台みらい高等学園 鶴谷特別支援学校	仙台みらい高等学園	販売はありません
11月 9日（木）	聴覚支援学校 光明支援学校	発表はありません	視覚支援学校 （あん摩体験）
11月10日（金）	岩沼高等学園 小松島支援学校	気仙沼支援学校 岩沼高等学園	販売はありません

※ 内容の変更等があった場合は、教育庁特別支援教育課ウェブページにてお知らせします。

みやぎっ子の
健康・体力づくりを
支援します

体力・運動能力 向上センター

（宮城県教育庁保健体育安全課内）

どんなことをやってるの？

体力向上コーディネーター巡回訪問

- 体力向上コーディネーターが直接学校を訪問
- 学校の取組や体育の授業づくりをサポート

地域センター員による学校間連携

- 地域センター員を中心に、地域の学校が連携
- 効果的な手立てや学校ごとの取組を共有

健康・体力づくり研修会の開催

- 明日の授業に役立つ！ 実技研修の実施
- 令和5年度は県内3か所で開催

Web運動広場の開催

- Web上で競い合うなわ跳びやマラソンの大会
- 学級単位での取組は、仲間づくりにも効果的！

2人のコーディネーターが訪問します！



岩山悦朗



高橋千春

地域センター員
所属校

連携校①

連携校②



令和5年度から中学生対象のマッスル大会が新設されました。



【その他のセンター事業】

- 体力・運動能力向上に関する講習会（4月・2月）
- 大学と連携した体力・運動能力調査の結果分析
- 体力・運動能力記録カードの活用
- 中央研修等への指導者派遣事業
- センター運営会議・地域センター員研修会 等

【問い合わせ先】

宮城県教育庁保健体育安全課学校体育班 TEL:022-211-3667

【子どもの体力運動能力に関するホームページ】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hotai/chousa.html>



令和5年度 前期の取組

体力向上コーディネーター巡回訪問

- 小学校233校、中学校124校を直接訪問（1回目）
- 各校の体力・運動能力のデータから、課題の把握と取組内容を助言
- 訪問した学校の好事例や運動機会の創出に向けた具体例を紹介

学校の声

- ✓他校の具体的な取組事例が参考になった
- ✓体育の授業を指導してほしい
- ✓地域や家庭との連携が重要

2回目は

- ✓令和4年度と令和5年度との比較資料の提示
- ✓授業参観による指導助言
- ✓各校のニーズに応じた訪問内容の調整

地域センター員による学校間連携

- 小・中学校の先生72人を地域センター員に委嘱
- 3年間で県内すべての学校への配置を目指す！

先生の声

- ✓近隣校の先生方と交流できてよかった
- ✓小学校と中学校の連携に役立った
- ✓健康・体力づくりへの関心が高まった

好事例

- ✓市町村教委の体力向上事業と連携
- ✓既存の小・中連携事業に体力向上を追加
- ※多くの学校では後期に取組を実施予定

健康・体力づくり研修会の開催

- 白石会場57人、登米会場76人、利府会場96人の計229人が参加



研修会プログラムの例

- ✓ジャンケンを使った導入運動
- ✓伝承遊びで楽しく動こう！
- ✓手作りボールでじゃまじゃまサッカー
- ✓楽しいなわ跳び運動のススメ

Web運動広場の開催

前期大会の様子

- ✓昨年度と比べ、チーム対抗の長なわ大会やクラス対抗のマラソン大会で参加チーム増
- ✓新設した中学生対象のマッスル大会は、体力・運動能力の平均値を学年ごとに競う
- ✓常連校、上位入賞校の多くは、学級づくりや仲間づくりの活動としても活用

後期大会日程

長なわ大会	11月27日～ 2月16日
短なわ大会	9月25日～11月24日
マラソン大会	9月 4日～ 2月16日
マッスル大会	6月 5日～ 1月31日

体力・運動能力向上センター便り

宮城県教育委員会
体力・運動能力向上センター
9月11日 第1号

今年度から始まった体力・運動能力向上センター事業では、体力向上コーディネーターが県内の市町村教育委員会及び小中学校を訪問し、取組状況の確認や情報交換等を行っているところであり、訪問の際の日程調整や当日の御対応に御協力いただいていることに対し、改めて感謝申し上げます。

さて、コーディネーターの巡回訪問を通して各校の取組などが把握でき、好事例なども挙がってきております。また、地域センター員の連携事業につきましても順次報告がされておりますので、センター便りを通して、事例紹介等を行っていきたいと思います。今後の指導等に御活用いただければと思います。引き続き、当センターの事業に御協力願います。

好事例の紹介

【学校全体での取組（家庭や地域も含む）】



PTA 主体で徒歩通学を推奨（横断幕設置・徒歩の日の設定）

【教材教具の工夫（投げる編）】



バトンスローの設置

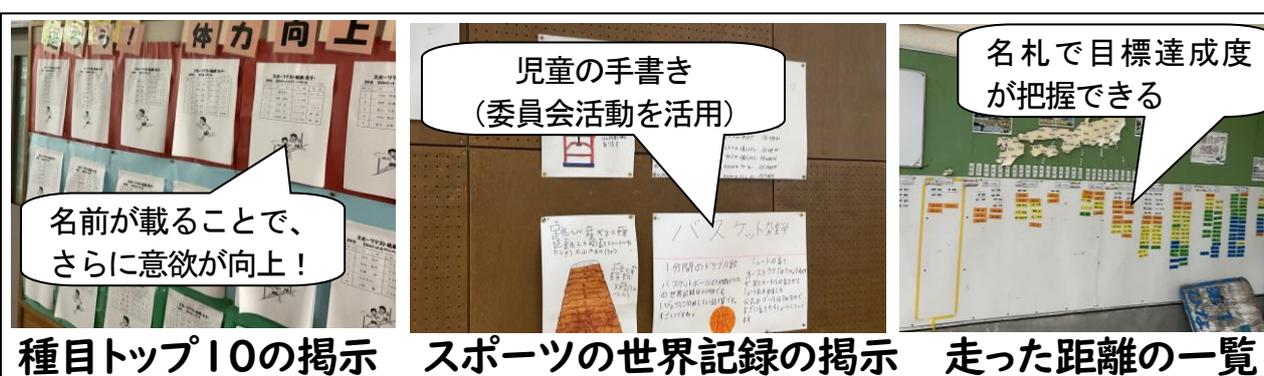


ミニゴールを利用した的の設置

【思わずやってみたくなる場のしかけ】



【掲示物などによる意識向上のしかけ】



【市町村教育委員会単位の取組事例】

【幼小の連携の強化】

幼稚園の段階から外遊びを積極的に進め、幼児期における運動機会の創出に取り組んでいる。運動の楽しさを味わい、意識が高まることで、小学校でも自然と運動する習慣が身に付いている。そうした児童の増加が、体力の向上につながっており、体力・運動能力調査の結果も全国を上回っている。

【メディアに触れる時間のコントロール】

市の取組として「でめこん」（デジタルメディアコントロールチャレンジ）を行っている。運動だけでなく、ゲームなどのデジタルメディアの使用時間についても目標を掲げ取組んでいる。小中学校の児童生徒の代表が話し合って目標を決めており、子供たちの考えを生かしている点がポイント。

体力向上コーディネーターより

- ・ 県内のほとんどの小中学校が1回目の訪問を終えており、10月からは2回目の訪問が始まります。日程調整等で、各校の先生方にはお手数をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。
- ・ 2回目の訪問では、各校の取組について、その後の様子を伺ったり、実際の授業の様子を参観したりしたいと思います。また、具体的な取組の手立てについても、こちらから紹介、提示したいと考えております。各校の課題となっている部分にポイントを当てて情報提供したいと思いますので、児童生徒の実態に合わせて参考にして、取組につなげていただければと思います。

まちなか美術講座2023

宮城県美術館コレクションものがたり

リニューアル休館中におこなう「まちなか美術講座」では、当館の40年以上の歴史の中で収集されてきたコレクションの特徴やつながりについてお話しします。

「カンヴァスを離れて—カンディンスキーからネオ・ダダまで」



2023年11月25日(土)
午後1時30分～
講師:小檜山祐幹
(当館副主任研究員)

ヴァシリー・カンディンスキー
《叙情的なるもの》詩画集『響き』より
1911年 宮城県美術館蔵

「夢みたパリ—宮城県美術館コレクションの中の
フランス近代美術」

2024年2月3日(土) 午後1時30分～ 講師:赤間和美(当館研究員)

【主催】宮城県美術館・東北工業大学

【会場】東北工業大学 一番町ロビー 2階ホール

【定員】各回50名 ※先着順 申込不要 【料金】無料

【お問合せ先】

980-0811 仙台市青葉区一番町 1-3-1 (TMビル) TEL:022-723-0538
東北工業大学一番町ロビー「まちなか美術講座」係

所蔵作品の複製(レプリカ)による 展示をおこないました

リニューアル休館中も当館所蔵作品を身近に感じていただく機会の一つとして、県庁ロビーに当館所蔵作品のレプリカを展示しました。7月3日～7日までの展示期間では、県庁を利用する多くの皆様にご覧いただくことができました。

今後も当館とその所蔵作品を紹介する企画を検討していきます。



宮城県庁1階ロビーでの展示

リニューアル休館中の 教育普及事業のお知らせ

リニューアル休館中も県内各所で様々な教育普及事業を展開しています。

「出張創作室」

当館の特徴のひとつである開館中誰もが使える「創作室」。その機能や特性の一端を県内の施設に持ち出し、キッズ・プログラムや実技ワークショップを行います。また会場をオープンアトリエとして利用できます。令和5年度は3カ所の施設で実施します。



大衛村ふるさと美術館でのキッズ・プログラムの様子

7月29日(土) 大衛村ふるさと美術館
10月28日(土) 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター
12月17日(日) 角田市市民センター(かくだ田園ホール)

「出張キッズ・プログラム」

県内2カ所の自然の家を会場に、「山」や「海」をそれぞれテーマにして子ども向けのプログラムを開催します。林の中や海、砂浜の周りなどをアーティストのさくまいずみ氏とともに探検し、そこで見つけた素材をもとに作品を制作します。



9月17日(日) 「山であそぶ日」(宮城県蔵王自然の家)
10月7日(土) 「海であそぶ日」(宮城県志津川自然の家)

「学校アウトリーチ」

美術館から遠方にある学校を訪問し、児童生徒や教員を対象に鑑賞・表現の活動を行います。令和5年度は次の13校で実施する予定です。

- ・広域仙台都市圏：山元町立山下小学校
- ・広域仙南圏：柴田町立西住小学校、丸森町立丸森中学校
- ・広域大崎圏：加美町立西小野田小学校、大崎市立古川西小中学校
- ・広域栗原圏：栗原市立高清水小学校、栗原市立栗駒中学校
- ・広域石巻圏：石巻市立向陽小学校、東松島市立鳴瀬未来中学校
- ・広域登米圏：登米市立米川小学校、登米市立豊里小・中学校
- ・広域気仙沼・本吉圏：南三陸町立戸倉小学校、気仙沼市立唐桑中学校

※いずれも詳細は当館WEBサイトをご確認ください。

2023年9月30日発行

RENEWAL LETTER

資料配布(7)



宮城県美術館はリニューアル工事のためただいま休館中です。

宮城県美術館の本館は、昭和56年(1981年)の開館から40年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、改修工事を行うこととし、令和5年6月19日から長期の休館に入りました。再開館は令和7年度中を予定しておりますが、その間の様々な活動や工事の進捗状況などについて、本誌でお知らせしてまいります。



(本誌は年間3～4回発行する予定です。)

所蔵作品ここで！

下記の展示会で宮城県美術館の所蔵作品をご覧いただけます。 ※展示会の詳細は各会場にお問い合わせください。

三重県立美術館「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022-23」	2023年10月7日(土)～12月10日(日)	絵本原画 350点以上
東京ステーションギャラリー「春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」	2023年9月16日(土)～11月12日(日)	木村荘八《お七櫓に登る》
和歌山県立近代美術館「トランスボーダー:和歌山とアメリカをめぐる移民と美術」	2023年9月30日(土)～11月30日(木)	加地為也《静物》、高橋勝蔵《静物》
久留米市美術館「芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏目漱石、菅虎雄」	2023年10月28日(土)～2024年1月28日(日)	カンディンスキー《響き》

休館中の当館の情報については、WEBサイトも併せてご覧ください

<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>



こんな風に変わります



キッズ・スタジオ

(仮称)



旧講堂

子どもたちが、鑑賞、素材体験、造形遊びなどの美術体験ができるスペースです。また、学校等の団体を対象としたオリエンテーションの実施など、多目的に活用することができます。室内には現在の造形遊戯室の機能を併設し、絵本を読んだり、積み木で遊ぶことができます。

※旧講堂部分には、個展やグループ展を開催できる県民ギャラリーも整備します。

情報・交流 ラウンジ

(仮称)



旧図書室

北庭に面した眺めの良い立地を生かし、開放的なくつろぎの空間を創出します。ここでは、誰もが自由に滞在でき、美術と美術館に関わる様々な情報に触れることができます。また、映像放映やレクチャーを行うスペースもラウンジの西側に併設します。



見える 収蔵庫



旧県民 ギャラリー

来館者は、いつでも、だれでも、絵を絵画ラックにかけた状態で収蔵している様子を見ることができます。

※旧県民ギャラリー部分には、常設展示や企画展示を行う新しい展示室も整備します。

中庭ほか 外構等

中庭や前庭などの床タイルは劣化が進んでいるため、劣化箇所の貼替えを行います。

また、外部の手摺、中庭の柱の再塗装や、汚れが目立っている本館外壁を洗浄し、きれいな見た目になります。



宮城県美術館が開館



展示室の様子



創作室

1981年11月3日、カンディンスキー作品31点、クレー作品10点などを含む700点余りの所蔵作品とともに開館しました。第1回の特別展は『現代日本の美術』。展示室だけでなく、中庭での展示やパフォーマンスもおこなわれています。さらに、オープンアトリエ(創作室)の設置、現代作家を招いての公開制作やワークショップも話題になりました。

中庭での展示(中谷美二子《霧の彫刻 #47590 "四角い霧I"》)

1981
昭和56年

第1回『みやぎの5人』展開催

宮城県ゆかりの現代作家の活動を紹介する展覧会。継続的に開催され、後の『アートみやぎ』展等へと引き継がれました。

1983
昭和58年

会場風景(高山登《遊殺》)



「洲之内コレクション」を収蔵

1989
平成元年

今も人気のある「洲之内コレクション」はこの年に収蔵されました。



長谷川満二郎《猫》

佐藤忠良 記念館開館



佐藤忠良記念館



アリスの庭

宮城県出身の彫刻家・佐藤忠良の作品を展示する記念館が開館。本館との間には「アリスの庭」も作られました。

1990
平成2年

プレイバック ミュージアム

大規模改修のため長期の休館に入った宮城県美術館の40年にわたる活動を振り返ります。みなさんの記憶には何が残っていますか？

特色ある作品の収蔵が続く

前庭にダニ・カラヴァン《マヤン》を設置。さらにこの年、カンディンスキー初期の代表作《商人たちの到着》を収蔵しています。



ダニ・カラヴァン《マヤン》



ヴァシリー・カンディンスキー《商人たちの到着》

1995
平成7年

『所蔵作品による全館展示 コレクションの四半世紀』開催

開館以来のコレクションの歴史を、全館を使って振り返りました。

2006
平成18年

1998
平成10年

絵本原画の収集が始まる

当館の絵本原画コレクションは、月刊絵本『こどものとも』(福音館書店刊)の初期の原画が核となっています。

公共建築百選に選出

『ルノワール展 Renoir. Modern Eyes』開催

1日平均3000人!初めて10万人の観覧者を集めた、話題の展覧会でした。



エントランスの行列

1999
平成11年

東日本大震災発生

文化財レスキューの拠点のひとつとして活動に取り組みました。

2011
平成23年

『フェルメールからの ラブレター展』開催

震災を乗り越えて開催された展覧会。フェルメールの作品3点が宮城に集いました。

ヨハネス・フェルメール《手紙を書く女》
ワシントン・ナショナル・ギャラリー



2020
令和2年

震災から10年、 復興を祈念した展覧会の開催

『奈良・中宮寺の国宝展』では中宮寺本尊の国宝・菩薩半跏思惟像を展示しました。



国宝・菩薩半跏思惟像

2023~
令和5年~

大規模改修の ため長期休館

改修事に向け、空っぽになった展示室

